

NO.16

さいたまけんかわぐちし  
埼玉県川口市

はっこう にせんにじゅうにねんろくがつ  
発行 2022年6月

と も と も

# TOMO×TOMO

がいこくじん にほんじん

じょうほうし

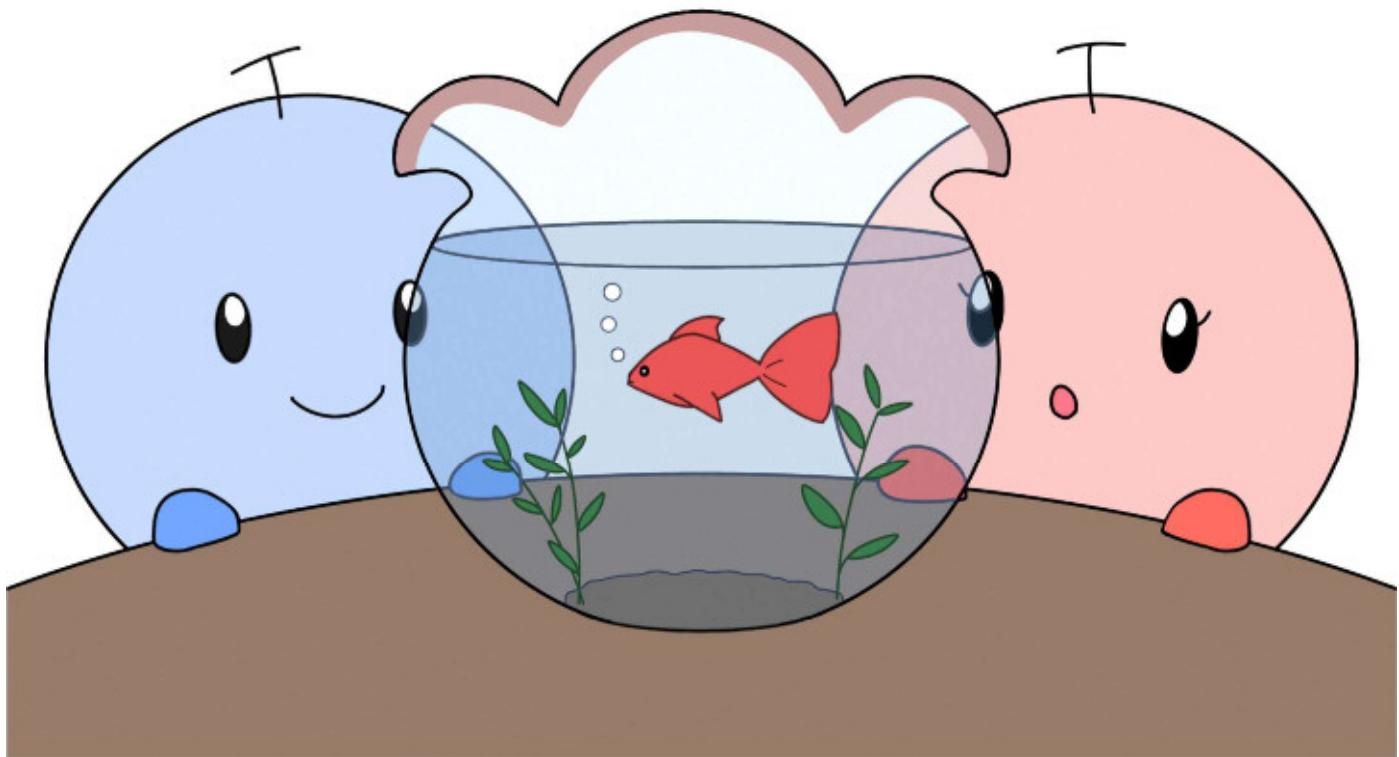
## 外国人と日本人のための情報誌

Newsletter for international friendship and foreign residents

为外国人与日本人共同创办的信息杂志

Tạp chí thông tin dành cho người nước ngoài và người Nhật

외국인과 일본인을 위한 정보지



### とびっくす トピックス

きせつ うつか にじゅうしせつき

・季節の移り変わり「二十四節気」

うえき あんぎょう

・植木のまち 安行

しょくぶつ なまえ つ にほん でんとうしき

・植物の名前が付いた日本の伝統色

かわぐちしりつぐりーんせんたー い

・川口市立グリーンセンターに行ってみよう

もくじ

# 目次 Contents 目录 Mục lục 목차

- 季節の移り変わり「二十四節氣」  
“24 Solar Terms”, Changing of the Seasons  
季节变化中的“二十四节气”  
Sự thay đổi mùa với “24 tiết khí”  
계절의 변화 ‘24절기’  
pp. 1–6
- 植物の名前が付いた日本の伝統色  
Japanese Traditional Colors with Plants' Names  
带有植物名字的日本传统颜色  
Màu sắc truyền thống của Nhật Bản gắn với tên cây cỏ  
식물의 이름이 붙은 일본 전통색  
pp. 7–11
- 植木のまち 安行  
Angyo, the Town of Garden-Plants  
园艺树木之乡 安行  
Angyo thành phố của những cây xanh  
정원수의 마을 안교  
pp. 12–15
- 川口市立グリーンセンターに行ってみよう  
Let's Visit Kawaguchi Municipal Green Center  
去川口市立绿色中心看看吧  
Hãy đến thăm trung tâm Xanh thành phố Kawaguchi  
가와구치시립 그린센터에 가보자  
pp. 16–20
- COLORFUL(カラフル)ふえすた × 多文化ふれあいフェスタ ~ココロとココロを繋ぎ、その先へ!~  
COLORFUL FESTA × MULTICULTURAL FUREAI FESTA ~Embracing our ties, envision our future!~  
COLORFUL(多彩)节×多文化交流节 ~心连心,一起向前走!~  
LỄ HỘI ĐÀ SẮC MÀU VÀ LỄ HỘI GIAO LUU ĐÀ VĂN HÓA ~Kết nối trái tim với trái tim và hồn thể!~  
COLORFUL(컬러풀)페스타×다문화 교류 페스타 ~마음과 마음을 잇는, 그 앞에!~  
pp. 21–25
- 多文化共生係 紹介文  
Multicultural Coexistence Desk Introduction  
多文化共生系员简介  
Giới thiệu nhóm Cộng đồng đa văn hóa  
다문화공생계 소개의 글  
pp. 26–27

- 川口市ボランティア日本語教室一覧  
A List of Kawaguchi City Volunteered Japanese Classes  
川口市志愿者日语教室一览表  
Danh sách lớp học tiếng Nhật tình nguyện thành phố Kawaguchi  
가와구치시 봄런티어 일본어 교실 일람  
p. 28

とあ	かわぐちし	しみんせいかつぶ	きょうどうすいしんか	たぶんかきょうせいかかり
問い合わせ	川口市	市民生活部	協働推進課	多文化共生係
かわぐちしかわぐちいち	いち	いちきゅぼ	らほんかんとうえむんかい	しみんばーとなーすでーしょん
〒332-0015	川口市川口1-1-1	キュボ・ラ本館棟M4階	かわぐち市民パートナーステーション	
TEL 048-227-7607	FAX 048-226-7718			
かわぐち	ほーむ	ペーじ	こうかい	みぎ
川口市のホームページでも公開しています。	QRコードからご覧いただけます。			らん



きせつ うつか にじゅうしせっさ  
季節の移り変わり「二十四節気」



てんきよほう きせつ うつか あらわ ことば であ いちねん いちばんにつしょうじかん なが げし  
天気予報などで、季節の移り変わりを表す言葉に出合います。1年で一番日照時間が長い「夏至」、  
はんたい いちばんにつしょうじかん みじか とうじ し  
反対に一番日照時間が短い「冬至」などはよく知られています。

ことば いちねん しゅんかしゅうとう よつ きせつ お むつ わ  
このような言葉は、1年を春夏秋冬の4つの季節に分け、さらにそれぞれを6つに分けたもので、  
にじゅうよん にじゅうしせっさ  
2 4 あることから「二十四節気」といいます。中国で考案されたものが基となっており、日本では実際の  
きせつかん たしょう かん ぶぶん ねん いちにちでいどぜんご  
季節感と多少ずれを感じる部分もあります。また、年によって1日程度前後することがあります。あいさつ  
じょう ひじねすぶんしょ にじゅうしせっさ はいけい りっか こう ぼうとう じこう つか  
状やビジネス文書で、二十四節気を「暁啓 立夏の候へ」と冒頭の時候のあいさつとしても使います。  
せつぶん きゅうれき にほん めいじご せんはつづやくななしゆうに ねいんぜん もち たいいんたいようれき いちねん はじ

ちなみ 「節分」は、旧暦(日本では明治5(1872)年以前に用いられていた太陰太陽暦)で1年の始まりとされる  
りつしゅん まえひ いちねん くぎ ひ まめ じやき はら とし ふくとく つかさど  
「立春」の前の日。つまり1年の区切りの日です。豆をまいて邪氣を払ったり、その年の福徳を司る  
かみさま ほうがく む えほうまき ふとま ずし いっき た あたら とし こううん ねが  
神様がいる方角を向いて恵方巻という太巻き寿司を一気に食べたりして、新しい年の幸運を願います。



にじゅうしせっさ  
【二十四節気】

きせつ 季節	にじゅうしせっさ 二十四節気名	しんれき 新暦の日付	いみ 意味
はる 春	立春(りつしゅん)	にがつよっかごろ 2月4日頃	はる はじ ひ きゅうれき いちねん はじ 春が始まる日。また、旧暦では1年の始まり
	雨水(うすい)	にがつじゅくにちごろ 2月19日頃	みず くさき め ではじ ころ 水がぬるくなり、草木の芽が出始める頃
	啓蟄(けいちつ)	さんがついつかごろ 3月5日頃	ふゆ むし ちちゅう は で ころ 冬ごもりしていた虫が地中から這い出でてくる頃
	春分(しゅんぶん)	さんがつにじゅういちにちごろ 3月21日頃	ちゅうや なが ひと ころ 昼夜の長さがほぼ等しくなる頃
	清明(せいめい)	しがついつかごろ 4月5日頃	すがすが あか くうき み ころ 清々しく明るい空気が満ちる頃
	穀雨(こくう)	しがつはつかごろ 4月20日頃	こくもつ うるお め だ あめ ふ ころ 穀物を潤し、芽を出させる雨が降る頃
なつ 夏	立夏(りつか)	ごがついつかごろ 5月5日頃	なつ はじ ひ 夏が始まる日
	小滿(しようまん)	ごがつにじゅういちにちごろ 5月21日頃	くさき しげ てんち み はじ ころ 草木が茂って天地に満ち始める頃
	芒種(ぼうしゅ)	ろくがつむいかごろ 6月6日頃	いね ねぎ こくもつ たね ころ 稻や麦など穀物の種をまく頃
	夏至(げし)	ろくがつにじゅういちにちごろ 6月21日頃	いちねん いちばんにつしょうじかん なが ひ 1年で一番日照時間が長い日
	小暑(しようしょ)	じちがつなのかごろ 7月7日頃	しょき つよ ころ 暑気が強くなる頃
	大暑(たいしょ)	じちがつにじゅうさんにちごろ 7月23日頃	いちねん いちばんあつ ころ 1年で一番暑い頃
あき 秋	立秋(りつしゅう)	はちがつようかごろ 8月8日頃	あき はじ ひ 秋が始まる日
	処暑(しょしょ)	はちがつにじゅうさんにちごろ 8月23日頃	なつ あつ やわ ころ 夏の暑さが和らぐ頃
	白露(はくろ)	くがつようかごろ 9月8日頃	あき けはい かん ころ 秋の気配が感じられる頃
	秋分(しゅうぶん)	くがつにじゅうさんにちごろ 9月23日頃	ちゅうや なが ひと ころ 昼夜の長さがほぼ等しくなる頃
	寒露(かんろ)	じゅうがつようかごろ 10月8日頃	よる なが つゆ つめ かん ころ 夜が長くなり、露が冷たく感じられる頃
	霜降(そうこう)	じゅうがつにじゅうよっかごろ 10月24日頃	しも お はじ ころ 霜が降り始める頃
ふゆ 冬	立冬(りつとう)	じゅういちがつなのかごろ 11月7日頃	ふゆ はじ ひ 冬が始まる日
	小雪(しようせつ)	じゅういちがつにじゅうにちごろ 11月22日頃	あめ ゆき か ころ 雨が雪に変わる頃
	大雪(たいせつ)	じゅうがつなのかごろ 12月7日頃	ゆき ふ つ ころ たくさんの中雪が降り積もる頃
	冬至(とうじ)	じゅうがつにじゅういちにちごろ 12月21日頃	いちねん いちばんにつしょうじかん みじか ひ 1年で一番日照時間が短い日
	小寒(しようかん)	いちがつなのかごろ 1月5日頃	さむ きび ころ 寒さがやや厳しくなる頃
	大寒(だいかん)	いちがつにじゅういちにちごろ 1月21日頃	いちねん いちばんさむ ころ 1年で一番寒い頃

にじゅうしせつき おも ぎょうじ ぎょうじ ゆらい しょせつ  
**【二十四節気による主な行事】※行事の由来には諸説あります。**

しゅんぶん ひ みつかまえ なのかかん はる ひがん しゅんぶん ひ ひがん ちゅうにち たいよう む わたし せかい  
**春分**……この日の3日前から7日間を「春の彼岸」といい、春分の日は「彼岸の中日」。太陽の向きなどから、私たちの世界と  
 せんぞ せかい もっと ちか きかん せんぞ はかまい ひと おお  
 先祖の世界が最も近づくとされるこの期間、先祖の墓参りをする人が多い。

しゅうぶん ひ みつかまえ なのかかん あき ひがん しゅうぶん ひ ひがん ちゅうにち しゅんぶん ひ おな いみあ きかん  
**秋分**……この日の3日前から7日間を「秋の彼岸」といい、秋分の日は「彼岸の中日」。春分の日と同じ意味合いで、この期間  
 はかまい ひと おお  
 にも墓参りをする人が多い。

とうじ ゆず い ふろ はい かぜ ひ ねが ゆず ゆ つ もの た うんき こうじょう  
**冬至**……柚子を入れたお風呂に入り、風邪を引かないように願う「柚子湯」や、「ん」が付く物を食べると運気が向上するという  
 い つた べつめい なんきん よ ふた つ とう た なら  
 言い伝えから、別名「南瓜」と呼ばれ「ん」が2つ付くカボチャ等を食べる習わしなど  
 がある。

しき おりおり にじゅうしせつき おも だ ひょうじょう も きせつ うつ かん  
 四季の折々に二十四節気を思い出し、さまざまな表情を持つ季節の移ろいを感じてみては  
 いかがでしょうか。



### 参考

こくりつこっこいとしまかんほ 一 む ベー ジ にじゅうしせつき にほん こよみ  
 国立国会図書館ホームページ(二十四節気/日本の暦)  
<http://www.ndl.go.jp/koyomi/chapter3/s7.html>



## “24 Solar Terms”, Changing of the Seasons

In weather forecast and so forth, you might come up with words and phrases that express the transition of the seasons. “Summer solstice”, the longest sunshine hours’ day of the year, and “Winter solstice”, the shortest sunshine hours’ day of the year, are well-known ones.

The idea of terms that express the seasonal changes were originated in China. They had divided a year into four seasons, spring, summer, autumn and winter, then had them divided further into six periods each, that made twenty-four short periods in all, so this is called “24 Solar Terms”. Since the idea was based on the climate in China, there is a slight discrepancy in sense of the season when we use them in Japan. Also, the first day of each term alters a day or so each year. You will often see these 24 Solar Terms in epistolary style letters and business letters as a greeting referring to the season; “Dear ~, at the time of *Rikka* ~”.



By the way, the day of *Setsubun*, falls on the day before *Risshun*, the beginning of the year in the Lunar Calendar (a lunisolar calendar which had been employed until 1872 in Japan). In other word, it is the day for people to close the year. Even today, we wish our good luck of the new year by having “Bean-scattering” ceremony to drive out noxious vapor from the body, eating *Ehoumakiribiki* thick roll with no stop facing the direction of the year’s God of happiness and prosperity sits.

### [24 Solar Terms]

Season	Term	Date in the Gregorian Calendar	Meaning
Spring	Start of Spring ( <i>Risshun</i> )	Around February 4	Beginning of spring. A New Year’s Day in the Lunar calendar.
	Rain Water ( <i>Usui</i> )	Around February 19	Water gets warmer, buds and shoots begin to appear.
	Awakening of Insects ( <i>Keichitцу</i> )	Around March 5	Insects come out of hibernation and begin to surface.
	Vernal Equinox ( <i>Shunbun</i> )	Around March 21	The length of day and night is nearly equal.
	Clear and Bright ( <i>Seimeji</i> )	Around April 5	The atmosphere full of purified and refreshed air.
	Grain Rain ( <i>Kokuu</i> )	Around April 20	Rain falls on grains, give life to plants.

Season	Term	Date in the Gregorian Calendar	Meaning
Summer	Start of Summer ( <i>Rikka</i> )	Around May 5	Beginning of Summer.
	Small Full Grain ( <i>Shouman</i> )	Around May 21	Plants begin to grow to cover the ground.
	Grain in Ear ( <i>Boushu</i> )	Around June 6	Farmers begin planting grains.
	Summer Solstice ( <i>Geshi</i> )	Around June 21	The length of sunlight is the longest in the year.
	Minor Heat ( <i>Shousho</i> )	Around July 7	The temperature begins to rise.
	Major Heat ( <i>Taisho</i> )	Around July 23	The temperature is the highest in the year.
Autumn	Start of Autumn ( <i>Risshuu</i> )	Around August 8	Beginning of autumn.
	Limit of Heat ( <i>Shosho</i> )	Around August 23	The heat starts to subside.
	White Dew ( <i>Hakuro</i> )	Around September 8	A sign of autumn gets stronger.
	Autumnal Equinox ( <i>Shuubun</i> )	Around September 23	The length of day and night is nearly equal.
	Cold Dew ( <i>Kanro</i> )	Around October 8	The length of night is getting longer, aware of the coldness of dew.
	Frost Descent ( <i>Soukou</i> )	Around October 24	Frost starts to form.
Winter	Start of Winter ( <i>Rittou</i> )	Around November 7	Beginning of winter.
	Minor Snow ( <i>Shousetsu</i> )	Around November 22	Rain turns to snow.
	Major Snow ( <i>Taisetsu</i> )	Around December 7	The snow piles up on the ground.
	Winter Solstice ( <i>Touji</i> )	Around December 21	The length of sunlight is the shortest in the year.
	Minor Cold ( <i>Shoukan</i> )	Around January 5	The weather turns slightly frigid.
	Major Cold ( <i>Daikan</i> )	Around January 21	The coldest day in the year.

**[Major events in the 24 Solar Terms]** ※There are a variety of views about its origin.

**Vernal Equinox** ····· Seven days of “Spring *Higan*–Buddhist Services” starts three days before this day. Vernal Equinox Day is called “the middle day of *Higan*”. It is said that the angle of sunlight forms this world and the world beyond much closer during this period, so people pay visits to their family tombs.

**Autumn Equinox** ····· Seven days of “Autumn *Higan*” starts three days before this day. Autumn Equinox Day is called “the middle day of *Higan*”. For the same reason as above, people pay visits to their family tombs.

**Winter Solstice** ····· We have a tradition of taking a hot bath scented with *Yuzu* (citrus junos) wishing not to catch a cold. Also, eating foods with “ん” sound in their names is said to have powers to bring good luck to you. So, we often eat pumpkin, *nankin* (*kabocha*) in Japanese, which has two “ん”s in it, following the long-established tradition.

How about referring these 24 Solar Terms in each season when appreciating the transition of the seasons that have a variety of appearances.

#### Reference

The National Diet Library Home Page (24 Solar Terms / Calendar in Japan)  
<http://www.ndl.go.jp/koyomi/chapter3/s7.html>



## 季节变化中的“二十四节气”

在天气预报中，经常会遇到表现季节变化的词语。例如众所周知一年中日照时间最长的一天是“夏至”，相反日照时间最短的一天是“冬至”等。

这样的词语，把一年分为春夏秋冬四个季节，进而又把各个季节分成6个节气，共有24个，因此被称为“二十四节气”。由于是以中国的二十四节气为基础，因此与日本实际的季节感多少有些偏差。并且，每年的日期都会有1天左右的变化。在日语的问候信或商务文件中，也经常以二十四节气作为开篇的问候语进行使用，例如：“敬启 立夏之时～”等。

顺便说一下，“节分”是阴历（日本在1872年以前采用的是太阴太阳历）中代表一年的开始“立春”的前一天。也是告别过去一年的日子。人们撒豆子以驱逐邪气，面向掌管这一年福德的神仙所在的方向，一口气吃完被称为惠方卷的厚卷寿司，祈愿能为新的一年带来好运。



### 【二十四节气】

季节	二十四节气名称	阳历日期	含义
春	立春	2月4日前后	春天开始之日。并且在阴历中代表一年的开始
	雨水	2月19日前后	水温开始回升，植物开始发芽
	惊蛰	3月5日前后	冬眠在地下的昆虫在此时破土而出
	春分	3月21日前后	昼夜的长短几乎相等
	清明	4月5日前后	空气清新明朗
	谷雨	4月20日前后	降雨使谷物被滋润发芽
夏	立夏	5月5日前后	夏天开始之日
	小满	5月21日前后	草木开始茂盛地生长
	芒种	6月6日前后	播种稻子和小麦等谷物的时期
	夏至	6月21日前后	一年中日照时间最长的一天
	小暑	7月7日前后	暑气渐强之时
	大暑	7月23日前后	一年之中最热的时期
秋	立秋	8月8日前后	秋天开始之日
	处暑	8月23日前后	暑气渐消之时
	白露	9月8日前后	开始感受到秋意
	秋分	9月23日前后	昼夜的长短变得几乎相等
	寒露	10月8日前后	夜晚变长，白露欲霜之时
	霜降	10月24日前后	开始降霜之时
冬	立冬	11月7日前后	冬天开始之日
	小雪	11月22日前后	(降水)由雨变雪的时期
	大雪	12月7日前后	降雪量增多并开始积雪
	冬至	12月21日前后	一年中日照时间最短的一天
	小寒	1月5日前后	开始变得寒冷
	大寒	1月21日前后	一年中最冷的时期

### 【根据二十四节气而来的主要活动】 ※关于活动的由来有各种说法。

春分……从这一天的3天前开始的7日之间被称为“春之彼岸”，春分是“彼岸的中日”。从太阳的朝向来看，在此期间，我们的世界和祖先的世界最为接近，因此有很多人会去扫墓。

秋分……从这一天的3天前开始的7日之间被称为“秋之彼岸”，秋分是“彼岸的中日”。与春分寓意相同，也有很多人会在此期间去扫墓。

冬至……在这一天会泡个放了柚子的热水澡，以祈求不要感冒，而且传说吃了名称发音中有“ん”的食物运气会变好。由于日语南瓜的别名(nankin)中有2个“ん”，因此有吃南瓜等食物的习俗。

让我们一起随着季节变化体会二十四节气，去感知表情丰富多彩的季节变迁吧。

#### 参考

国立国会图书馆主页（二十四节气/日本的日历）

<http://www.ndl.go.jp/koyomi/chapter3/s7.html>

## Sự thay đổi mùa với “24 tiết khí”



Trong các chương trình dự báo thời tiết, chúng ta hay gặp từ ngữ thể hiện sự thay đổi của mùa. Mọi người thường biết rằng trong 1 năm, ngày có thời gian mặt trời chiếu sáng dài nhất là “hạ chí”, ngược lại ngày có thời gian mặt trời chiếu sáng ngắn nhất là “đông chí”.

Với những thuật ngữ này, thời tiết của 1 năm chia thành bốn mùa xuân hạ thu đông, mỗi mùa chia thành 6 giai đoạn, tổng là 24, người ta gọi là “24 tiết khí”. Việc phân chia này dựa trên quan niệm của Trung Quốc nhưng ở Nhật Bản có cảm nhận hơi khác so với cảm giác giao mùa thực tế. Ngoài ra, tùy theo năm sẽ có sự chênh lệch khoảng 1 ngày. Ở trong thiệp chào hỏi hay văn bản văn phòng, người ta thường sử dụng các câu chào liên quan đến mùa ở đầu văn bản như “Kính gửi quý công ty, trong khí trời lập hạ...”

Giải thích thêm là, “tiết phân” là ngày trước ngày “lập xuân” – ngày được coi là bắt đầu của 1 năm theo âm lịch (lịch âm, lịch mặt trời) được sử dụng từ trước năm Meiji thứ 5 (năm 1872) tại Nhật Bản). Tóm lại, đó là ngày kết thúc của 1 năm. Mọi người thường rắc hạt đậu để xua đuổi bệnh tật và quay về hướng có vị thần nắm giữ phước đức của một năm, ăn một lần hết cả cuộn cơm dày gọi là ehomaki với mong muốn một năm mới may mắn và hạnh phúc.

### [24 tiết khí]

Mùa	Tên 24 tiết khí	Ngày theo lịch mới	Ý nghĩa
Xuân	Lập xuân (risshun)	Khoảng ngày 4 tháng 2	Ngày bắt đầu của mùa xuân. Hay là ngày bắt đầu của một năm theo lịch cũ.
	Vũ thủy (usui)	Khoảng ngày 19 tháng 2	Là thời gian bắt đầu mưa ẩm, chồi non bắt đầu nảy lộc.
	Kinh trập (keititsu)	Khoảng ngày 5 tháng 3	Là thời gian côn trùng sau một thời gian ngủ đông bắt đầu bò ra lén mặt đất
	Xuân phân (shunbun)	Khoảng ngày 21 tháng 3	Là thời gian đêm và ngày tương đối bằng nhau.
	Thanh minh (seimei)	Khoảng ngày 5 tháng 4	Là thời gian không khí trong lành và ánh sáng ngập tràn.
	Cốc vũ (kokuu)	Khoảng ngày 20 tháng 4	Là thời gian mưa làm ướt các hạt ngũ cốc, giúp đâm chồi non.
Hạ	Lập hạ (rikka)	Khoảng ngày 5 tháng 5	Ngày bắt đầu mùa hạ
	Tiểu mãn (shouman)	Khoảng ngày 21 tháng 5	Là thời gian cây cối xanh tươi khắp đất trời.
	Mang chủng (boushu)	Khoảng ngày 6 tháng 6	Là thời gian gieo mầm các cây ngũ cốc như lúa gạo, lúa mì.
	Hạ chí (gheshi)	Khoảng ngày 21 tháng 6	Ngày có thời gian mặt trời chiếu sáng dài nhất trong 1 năm.
	Tiểu thử (shousho)	Khoảng ngày 7 tháng 7	Là thời gian khí nóng trở nên oi bức hơn.
	Đại thử (taisho)	Khoảng ngày 23 tháng 7	Là thời gian nóng nhất trong năm.
Thu	Lập thu (risshuu)	Khoảng ngày 8 tháng 8	Ngày bắt đầu mùa thu
	Xử thử (shosho)	Khoảng ngày 23 tháng 8	Là thời gian khí nóng của mùa hạ bắt đầu dịu
	Bạch lộ (hakuro)	Khoảng ngày 8 tháng 9	Là thời gian có thể cảm nhận được dấu hiệu của mùa thu
	Thu phân (shuubun)	Khoảng ngày 23 tháng 9	Là thời gian mà độ dài của ngày đêm tương đối bằng nhau
	Hàn lộ (kanro)	Khoảng ngày 8 tháng 10	Là thời gian buổi đêm dài hơn, và có thể cảm nhận được sương lạnh.
	Sương giáng (soukou)	Khoảng ngày 24 tháng 10	Là thời gian sương mù bắt đầu xuất hiện
Đông	Lập đông (rittou)	Khoảng ngày 7 tháng 11	Ngày bắt đầu mùa đông
	Tiểu tuyết (shousetsu)	Khoảng ngày 22 tháng 11	Là thời gian thay đổi từ mưa sang tuyết
	Đại tuyết (taisetsu)	Khoảng ngày 7 tháng 12	Là thời gian có tuyết rơi dày
	Đông chí (Touji)	Khoảng ngày 21 tháng 12	Ngày có thời gian mặt trời chiếu sáng ngắn nhất trong 1 năm
	Tiểu hàn (shoukan)	Khoảng ngày 5 tháng 1	Là thời gian có cái lạnh trở nên khắc nghiệt hơn
	Đại hàn (daikan)	Khoảng ngày 21 tháng 1	Ngày lạnh nhất trong 1 năm

### [Các sự kiện chính theo 24 tiết khí] ※ Có rất nhiều giải thích khác nhau về nguồn gốc của sự kiện.

**Xuân phân** ... Trước ngày này 3 ngày kéo dài 7 ngày gọi là “tuần viếng mộ mùa xuân”, ngày xuân phân gọi là “ngày chính giữa của tuần viếng mộ”. Do hướng mặt trời, đây là khoảng thời gian thế giới của chúng ta và thế giới của tổ tiên gần nhau nhất nên số người viếng mộ tổ tiên trong thời gian này rất nhiều.

**Thu phân**... Trước ngày này 3 ngày kéo dài 7 ngày gọi là “tuần viếng mộ mùa thu”, ngày thu phân gọi là “ngày chính giữa của tuần viếng mộ”. Cũng có ý nghĩa giống với ngày xuân phân, số người viếng mộ trong thời gian này rất nhiều.

**Đông chí**... Người ta truyền nhau rằng tắm trong “nước yuzu” là nước nóng có cho chanh yuzu vào với mong muốn không bị ốm đau, và ăn món mà trong tên gọi có chữ “n” thì vận khí sẽ tăng lên. Do đó, mọi người có phong tục ăn bí ngô, có tên gọi khác là “nanka”, có hai chữ “n”.

Bạn hãy nhớ 24 tiết khí trong mỗi mùa và thử cảm nhận về sự thay đổi mùa với nhiều biểu hiện khác nhau xem có thú vị không nhé!

### Nguồn tham khảo

Trang web thư viện quốc hội quốc gia (24 tiết khí/lịch Nhật)  
<http://www.ndl.go.jp/koyomi/chapter3/s7.html>

## 계절의 변화 ‘24절기’

일기 예보 등에서 계절의 변화를 나타내는 말을 대합니다. 1년에 제일 햇빛 시간이 긴 ‘하지’, 반대로 제일 햇빛 시간이 짧은 ‘동지’등은 잘 알려져 있습니다.

이러한 말은, 1년을 봄 여름 가을 겨울의 4개의 계절로 나누고 한층 더 각각을 6개로 나눈 것으로, 24가 있으므로 인해 ‘24절기’라고 합니다. 중국에서 고안된 것이 기초로 되어있어, 일본에서는 실제의 계절감과 다소 어긋남을 느끼는 부분도 있습니다. 또한, 해에 따라 하루 정도 전후하는 경우가 있습니다. 인사장이나 비즈니스 문서로, 24절기를 ‘배계 입하의 후~’등, 서두의 시후의 인사로도 사용합니다.

이와 관련하여 ‘절분’은, 음력(일본에서는 1872년 이전에 사용되고 있던 태음 태양력)으로 1년의 시작으로 여겨지는 ‘입춘’ 전 날, 즉 1년의 구분의 날입니다. 콩을 뿌려 악을 물리치거나 그 해의 복덕을 맡는 신이 있는 방향을 향해 에호마키라는 굽은 김밥을 단번에 먹거나 해서 새해의 행운을 기원합니다.

### 【24사절기】

계절	24절기명	양력날짜	의 미
춘	입춘	2월 4일경	봄이 시작되는 날. 또는 음력으로 일년의 시작
	우수	2월 19일경	물이 미지근해지고 초목의 눈이 나올 무렵
	경칩	3월 5일경	겨울 잠자던 벌레가 지중으로 나올 무렵
	춘분	3월 21일경	밤낮의 길이가 거의 같아질 무렵
	청명	4월 5일경	깨끗하고 맑은 공기가 가득 할 무렵
	곡우	4월 20일경	곡물을 적시고 쟈을 내는 비가 내릴 무렵
하	입하	5월 5일경	여름이 시작되는 날
	소만	5월 21일경	초목이 무성하고 천지에 가득하기 시작 할 무렵
	망종	6월 6일경	벼나 밀 등의 곡물 씨를 파종 할 무렵
	하지	6월 21일경	일년에 해가 제일 길 무렵
	소서	7월 7일경	더위가 강해질 무렵
	대서	7월 23일경	일년에 제일 더울 무렵
추	입추	8월 8일경	가을이 시작되는 무렵
	처서	8월 23일경	여름 더위가 누그러질 무렵
	백로	9월 8일경	가을이 오는 것을 느낄 무렵
	추분	9월 23일경	밤낮의 길이가 거의 같아 질 무렵
	한로	10월 8일경	밤이 길어져서 이슬이 차갑게 느껴질 무렵
	상강	10월 24일경	서리가 내리기 시작 할 무렵
동	입동	11월 7일경	겨울이 시작되는 무렵
	소설	11월 22일경	비가 눈으로 변하는 무렵
	태설	12월 7일경	눈이 많이 쌓이는 무렵
	동지	12월 21일경	일년에 가장 해가 짧은 무렵
	소한	1월 5일경	추위가 조금 추워지는 무렵
	대한	1월 21일경	일년에 가장 추울 무렵

### 【24절기에 의한 주된 행사】 ※행사의 유래에는 여러 설이 있습니다.

춘분……이 날 3일 전부터 7일간을 ‘봄 피안’이라고 하며, 춘분은 ‘파안 중일’. 태양의 방향 등에서 우리의 세계와 선조의 세계가 가장 가까워지는 이 기간, 선조의 묘에 가는 사람이 많다.

추분……이 날의 3일 전부터 7일간을 ‘가을 피안’이라고 하며, 추분의 날은 ‘파안 중일’. 춘분과 같은 의미로, 이 기간에도 성묘하는 사람이 많다.

동지……‘유자를 넣어서 목욕하고 감기에 걸리지 않도록 기원하는 유자 옥이나 응이 붙는 것을 먹으면 운이 항상된다고 하는 구전에 의해 별명 낭강이라고 하는 응이 2개 붙는 호박 등을 먹는 습관이 있다.

사계절 절기 절기에 24절기를 기억하고, 다양한 표정을 가진 계절의 움직임을 느껴 보는 것은 어떻습니까?



참고

국립국회 도서관 홈페이지(24절기/일본 달력)

<http://www.ndl.go.jp/koyomi/chapter3/s7.html>

# 植物の名前が付いた日本の伝統色



日本には、古くから色を表す言葉が多くあります。これを伝統色と言い、なんと1000以上の種類が存在しています。そのほとんどが、平安時代(10~11世紀)に生まれたものです。女性が着物を何枚も重ねて着ていたため、その繊細な色の違いを表すのにさまざまな表現が作られたようです。その中でも今日は、植物の名前が付いた色を10種類紹介します。色は季節順に並んでいて、後半の4色は年間を通して使われています。

## ・紅梅色(こうばいいろ)

赤みがかった濃いピンク色。平安時代に大流行し、「今様色(今っぽい色)」として貴族を中心に親しまれました。梅の花は春の早い時期に咲き出すことから、冬から春にかけての着物に使われます。

## ・桜色(さくらいろ)

淡いピンク色。紅染めの中では最も淡い色で、日本原産の山桜の色が由来になっています。桜が咲く季節に合わせ、主に春の着物に使われます。

## ・山吹色(やまぶきいろ)

赤みがかった濃い黄色。山吹色という名前ですが、布を染める時は山吹の花ではなくクチナシと蘇芳の実を使っています。

4月から5月にかけて山吹の花が咲くことから、春の終わり頃の着物に多く使われています。

## ・苔色(こけいろ)

くすんだ黄緑色。2000種類以上ある苔の中でも、青苔に由来します。苔色が一般化したのは近代(19世紀頃)とも言われています。夏の着物に使われることが多い色です。

## ・紫苑色(しおんいろ)

うすい紫色。9月から10月にかけて咲く紫苑の花に由来します。開花時期が中秋の名月(9月の半ば頃)に見られる月のことと被るため、「十五夜草」とも呼ばれています。主に秋の着物に使われます。



## ・葡萄色(えびいろ)

黒みがかった深い紫色。昔は葡萄を「えび」と呼んだことからこの名前が付きました。

奈良時代(8世紀)に生まれた色です。葡萄が熟すのが秋の深まった頃だったため、秋の終わり頃に多く使われています。

## ・柳色(やなぎいろ)

白みがかったやわらかい黄緑色。枝垂れ柳の葉の色が由来です。染色技術が発達した江戸時代(17~19世紀)頃から、本物の柳を染色の原料として使うようになりました。それまでは緑色の経糸と白色の緯糸を組み合わせて、柳色を表現していました。

## ・胡桃色(くるみいろ)

赤みがかったうすい茶色。奈良時代からあった色で、胡桃の樹の皮や実から採れる灰汁を使って染色します。もとは紙を染めるのに使われていました。衣服を染めるのに使われるようになったのは、平安時代に入ってからのことです。

## ・丁子色(ちょうじいろ)

黄色みがかったうすい茶色。丁子は香料として使われていたため、「香色」と呼ばれることもあります。江戸時代には丁子茶という名前になり、一般の人々の間で流行しました。

## ・韓紅(からくれない)

鮮やかな赤色。「韓」は「唐」とも置き換えられ、中国から伝わった色でした。平安貴族に愛された色でしたが、原料である紅花は高価だったため、濃い紅花染めの着物はわずかしかありませんでした。

衣服の色に植物の名前を付けたのは、上品で素敵なことですね。紹介した中で、みなさんはいくつの色を知っていましたか。この他にも、日本には植物が由来の色はまだたくさんあります。自然の中にある日本の伝統色を探しに出かけてみませんか。

日本色彩学会「散歩が楽しくなる日本の色手帳」(東京書籍、2021年)  
 福田邦夫「花の色図鑑」(講談社、2007年)  
 森村宗冬「美しい日本の伝統色」(山川出版社、2013年)



## Japanese Traditional Colors with Plants' Names

From ancient times, names for colors are abundant in Japan. They are called traditional colors and you will be astonished by the fact that there are more than 1,000 names in it. Most names date back to the *Heian* period (10<sup>th</sup>-11<sup>th</sup> Century). In those days, women's fashion was comprised of the layers of *Kimonos*. It is said that to describe subtle color differences of those *Kimonos*, numerous color names were created. Today, I chose 10 plant-originated color names which will appear in order of the seasons. Last four colors are used all year round.

### • *Kobai-Iro* / Red Ume Blossom color

Reddish pink. Which was in fashion in the *Heian* period. As a “modern color”, this color was favored mainly by the nobility of those days. Since Ume blossoms start to bloom in early spring, this color is used for winter – spring *Kimono*.



### • *Sakura-Iro* / Cherry color

Light pink. The lightest tone in all pink-crimson types. Inspired by the color of wild cherry blossoms of Japan. It is the color of spring *Kimono* to match the season of cherry-blossoms.

### • *Yamabuki-Iro* / Japanese Globeflower color

Reddish deep yellow. Although it has the name of globeflower, it uses gardenia and sappanwood seeds to dye. *Yamabuki* blooms from April to May, so this color is often used for late-spring *Kimono*.

### • *Koke-Iro* / Moss color

Dark yellow green. From over 2,000 species, this color was derived from Green Moss. It is said that this color was not come into common use until recent years (19<sup>th</sup> Century). Often use this color for summer *Kimono*.

### • *Shiori-Iro* / Tartarian Aster color

Light purple. Named after Tartarian Aster which in bloom from September to October. Since its flowering time overlaps with the Harvest Moon (the full moon in mid-September), it is also called as “*Jugoya-sou* (night with a full moon grass). The color is used for autumn *Kimono*.

### • *Ebi-Iro* / Grape color

Blackish deep brown. Ancient name for grape became the name of this color. Born in the *Nara* period (8<sup>th</sup> Century). Grapes ripen in deep autumn, so we often use this color around late autumn.

### • *Yanagi-Iro* / Willow color

Whitish pale-yellow green. Came from the color of weeping willow blades. It was not until the dyeing techniques have developed in the *Edo* period (17<sup>th</sup> -19<sup>th</sup> Century) that they began to use real willow blades as dyestuff. Until then, this color was created by weaving green color warp and white color weft together.

### • *Kurumi-Iro* / Walnut color

Reddish light brown. They used this color, dyed with alkaline liquid extracted from bark and walnut, as early as in the *Nara* period. Originally, this method was used to dye papers. It was not until the *Heian* period that people began to use this dyestuff for cloths.



### • *Chojir-Iro* / Clove color

Yellowish light brown. Since clove was also known as an aromatic spice, it is sometimes called as “spice color”. In the *Edo* period, people started to call it clove brown, and came in fashion among common people.

### • *Kara-Kurenai* / Safflower Red

Crimson. As Kanji for “Kara” expressed by 韓 or 唐, this was originally introduced from China. Favored by the *Heian* nobility. However, safflower was awfully expensive at that time, so it is rare to find deep red colored *Kimonos* that are dyed generously with safflower.

How elegant it is to call the colors by botanical names. How many of them were you acquainted with? We still have more colors with plant-originated names. Why do not we set out on a trip to find Japan's traditional colors in the nature?

### Reference

The Color Science Association of Japan ; “Sanpoga Tanoshikunaru Nihonno Techou” (Tokyo Shoseki, 2021)

Kunio Fukuda ; “Hana no Zukan” (Kodansha, 2007)

Munefuyu Morimura ; “Utsukushii Nihon no Dentoushoku”(Yamakawa Shuppansha, 2013)

## 带有植物名字的日本传统颜色

日本自古以来就有很多表示颜色的词语。这些被称为传统颜色，竟然有1000多种。大部分传统颜色产生于平安时代（10~11世纪）。由于当时的女性都重叠地穿好几件和服，为了表现出纤细的颜色差异，就创造了各种各样的表现颜色的词语。此次我们将要介绍其中带有植物名字的10种颜色。这些颜色是按照季节顺序排列的，后半部分的4种颜色为全年使用。

### · 红梅色

带红色的深粉色。在平安时代非常流行，作为“时尚色（时令感强烈的颜色）”主要受到贵族的青睐。鉴于梅花是在早春时期开放，所以此色用于从冬天到春天的和服。

### · 樱花色

淡粉色。在红色印染中是最淡的颜色，来源于日本原产的山樱的颜色。结合樱花开放的季节，主要用于春天的和服。

### · 山吹色

带红色的深黄色。虽然名字叫“山吹色”，但是染布的时候不是用棣棠（山吹）的花，而是用梔子和苏木的果实。棣棠花在4月到5月开放，所以常用于春天结束时的和服。

### · 苔色

暗的黄绿色。在2000多种苔藓中，苔色来源于青苔。也有人说苔色的普及是在近代（19世纪左右）。是常用于夏天穿的和服的颜色。

### · 紫苑色

浅紫色。来源于9月到10月开放的紫苑花。因为开花时期与中秋满月（9月中旬左右能看到的月亮）时期重合，所以也被称为“十五夜草”。主要用于秋天的和服。

### · 葡萄色

带黑的深紫色。因古代葡萄被读做“Ebi”而得名。是奈良时代（8世纪）产生的颜色。由于葡萄是在深秋时节成熟，所以此色多用于秋天结束的时候。



### · 柳色

带白色的柔和的黄绿色。来源于垂柳的叶子颜色。从染色技术已经发达的江户时代（17~19世纪）开始将真正的柳树作为染色的原料来使用。在那之前，是用绿色经线和白色纬线相组合来表现出柳色。

### · 核桃色

带红色的浅茶色。是从奈良时代开始就有的颜色，用从核桃树的树皮和果实中提取的汁液进行染色。起初是用来染纸的。用于染衣服是进入平安时代以后的事情。

### · 丁子色

带黄色的浅茶色。由于当时丁子香被作为香料来使用，所以也被称为“香色”。到了江户时代更名为丁子茶，并在庶民之间流行。

### · 韩红

鲜艳的红色。“韩”也可以换成“唐”，是从中国传来的颜色。虽然是平安贵族所喜爱的颜色，但是由于当时作为原料的红花价格昂贵，因此被染成鲜红色的和服非常少。



## 参考文献

日本色彩学会《让散步变得快乐的日本颜色手册》（东京书籍，2021年）

福田邦夫《花的颜色图鉴》（讲谈社，2007年）

森村宗冬《美丽的日本传统颜色》（山川出版社，2013年）

## にほんご つか やさしい日本語を使ってみましょう

にほんご がいこくじん はいりょ かんたん にほんご つぎ ことば にほんご い か  
やさしい日本語とは、外国人にもわかりやすく配慮した簡単な日本語のことです。次の言葉をやさしい日本語に言い換えて  
みましょう！

けっこう  
1. 結構です

めあ  
2. 召し上がってください

3. おかげください



ひんと  
ヒント：  
けいご しよう ひか  
敬語の使用を控える

せいわい  
正解は  
じゅういちペーじ  
11ページ

## Màu sắc truyền thống của Nhật Bản gắn với tên cây cỏ

Ở Nhật Bản, từ ngày xưa đã có rất nhiều từ vựng thể hiện màu sắc. Người ta gọi đó là màu sắc truyền thống, hiện có khoảng ít nhất 1000 màu. Hầu hết trong số đó xuất phát từ thời kỳ Heian (thế kỷ 10-11). Vì phụ nữ mặc kimono với nhiều lớp chồng lên, các cách thể hiện này được tạo ra để miêu tả sự khác nhau giữa các màu sắc tinh tế đó. Trong các màu sắc đó, tại bài viết này, chúng tôi sẽ giới thiệu 10 màu sắc gắn liền với tên cây cỏ. Nếu xếp theo thứ tự mùa, 4 màu dưới cùng được sử dụng trong suốt cả năm.

### •Màu mơ hồng (kobai-iro)

Màu hồng đỏ đậm. Nó trở thành trào lưu được thịnh hành từ thời kỳ Heian, được giới quý tộc ưa chuộng, xem như màu imasama (màu của thời đại hiện giờ). Hoa mơ nở vào đầu mùa xuân nên màu này thường được dùng cho kimono mặc từ mùa đông đến xuân.

### •Màu anh đào (sakura-iro)

Màu hồng nhạt. Đây là màu nhạt nhất trong số các màu nhuộm đỏ, bắt nguồn từ màu anh đào hoang dã có nguồn gốc ở Nhật. Màu này được sử dụng chủ yếu cho kimono mùa xuân, kết hợp cùng với tiết trời khi hoa anh đào nở.

### •Màu hoa lê đường (yamabuki-iro)

Màu vàng đỏ đậm. Nó có tên là màu hoa lê đường nhưng để nhuộm vải, người ta không dùng hoa lê đường mà dùng hoa dành dành và quả tôm mộc. Hoa lê đường nở từ tháng 4 đến tháng 5 nên màu này được sử dụng nhiều cho kimono mặc vào cuối mùa xuân.

### •Màu rêu (koke-iro)

Màu vàng xanh nhạt. Dù có trên 2000 loại rêu khác nhau, nhưng màu này bắt nguồn từ rêu xanh. Người ta cho rằng màu rêu xanh trở nên phổ biến ở thời hiện đại (khoảng thế kỷ 19). Đây là màu được sử dụng nhiều cho kimono mùa hè.

### •Màu hoa thạch thảo (shion-iro)

Màu tím nhạt. Nó bắt nguồn từ hoa thạch thảo nở từ tháng 9 đến tháng 10. Vì thời kỳ hoa nở là vào lúc trăng tròn trung thu (trăng có thể nhìn thấy khoảng giữa tháng 9) nên người ta còn gọi là “cô đêm rằm”. Màu này chủ yếu được sử dụng cho kimono mùa thu.

### •Màu nho ebi (ebi-iro)

Màu tím đậm hơi đen. Từ ngày xưa, tên gọi được xuất phát từ việc gọi nho là “ebi”. Đây là màu có từ thời kỳ Nara (thế kỷ 8). Khi nho chín là mùa thu đã vào quá độ, nên màu này được sử dụng nhiều vào khoảng cuối thu.

### •Màu liễu (yanaghi-iro)

Màu xanh vàng nhạt, hơi trắng. Nó xuất phát từ màu lá của cây liễu rủ. Từ khoảng thời kỳ Edo (thế kỷ 17 đến 19), khi kỹ thuật nhuộm màu phát triển, người ta sử dụng cây liễu để làm nguyên liệu nhuộm màu. Trước đó, người ta kết hợp sợi dọc màu xanh và sợi ngang màu trắng để tạo ra màu liễu.

### •Màu cây hồ đào (kurumi-iro)

Màu nâu nhạt hơi đỏ. Là màu có từ thời kỳ Nara, người ta dùng dung dịch được tạo ra từ vỏ và quả cây hồ đào để nhuộm quần áo. Ban đầu, dung dịch này được dùng để nhuộm giấy. Việc sử dụng để nhuộm quần áo được bắt đầu từ thời kỳ Heian.

### •Màu cây đinh hương (chouji-iro)

Màu nâu nhạt, hơi vàng. Đinh hương được dùng trong việc tạo hương liệu nên màu này còn được gọi là “kou-iro”. Từ thời kỳ Edo, người ta bắt đầu gọi là chouji-iro và được phổ biến trong cộng đồng.

### •Màu hoa rum (karakurenai)

Màu đỏ tươi. Đây là màu được du nhập từ Trung Quốc, thay thế chữ “唐 - ĐƯỜNG” thành chữ “韓 - HÀN”. Là màu sắc được các quý tộc thời kỳ Heian yêu thích nhưng hoa rum được sử dụng làm nguyên liệu có giá thành cao nên chỉ có một số ít bộ kimono được nhuộm màu hoa rum đậm.

Đặt tên cây cỏ cho màu sắc quần áo thật thanh tao và đẹp đẽ. Trong các màu sắc chúng tôi giới thiệu, các bạn đã biết bao nhiêu màu? Ngoài ra, ở Nhật vẫn còn rất nhiều màu sắc có nguồn gốc từ cây cỏ. Hãy thử tìm kiếm các màu sắc truyền thống của Nhật có trong thiên nhiên nhé!

Nguồn tham khảo

Hiệp hội sắc màu Nhật Bản “Sô tay màu sắc Nhật Bản khiến cuộc tản bộ vui thú hơn” (Thư tịch Tokyo, năm 2021)

Tác giả Fukuda Kunio “Từ điển hình ảnh màu của hoa” (nhà xuất bản Kodansha, năm 2007)

Tác giả Morimura Munefuyu “Màu sắc đẹp trong truyền thống Nhật Bản” (nhà xuất bản Yamakawa, năm 2013)



## 식물의 이름이 붙은 일본 전통색

일본에는 예로부터 색을 나타내는 단어가 많이 있습니다. 이것을 전통색이라고 하고, 무려 1000 이상의 종류가 존재합니다. 그 대부분이 헤이안 시대(10~11세기)에 태어난 것입니다. 여성의 기모노를 몇 장이나 겹쳐 입었기 때문에, 그 섬세한 색의 차이를 나타내는데 다양한 표현이 만들어졌다고 합니다. 그중에서도 이번에는 식물의 이름이 붙은 색을 10 종류 소개하겠습니다. 색은 계절 순으로 되어 있고, 후반의 4색은 일년 내내 사용되고 있습니다.

### • 흥매색(코우 바이 이로)

붉은 색을 띤 진한 꽁크색. 헤이안 시대에 대유행해, ‘금양색(지금 같은 색)’으로서 귀족을 중심으로 사랑받았습니다. 매화꽃은 봄의 이른 시기에 피기 때문에, 겨울부터 봄에 걸쳐 기모노에 사용됩니다.



### • 벚꽃색(사쿠라 이로)

창백한 분홍색. 붉은 염색 중에서는 가장 옅은 색으로, 일본 원산의 산 벚꽃의 색이 유래이지요. 벚꽃이 피는 계절에 맞추어 주로 봄의 기모노에 사용됩니다.

### • 산취색(야마부키 이로)

붉은 색을 띤 진한 노란색. 야마후키 색이라고 하는 이름입니다만, 천을 염색할 때는 야마부키꽃이 아니라 치자나무와 다목나무의 열매를 사용하고 있습니다. 4월부터 5월에 걸쳐 야마후키꽃이 피기 때문에, 봄이 끝날 무렵 기모노에 많이 사용되고 있습니다.

### • 이끼색(코케 이로)

수수한 황록색. 2000종류 이상 있는 이끼 중에서도 청 이끼에서 유래합니다. 이끼 색이 일반화된 것은 근대(19세기 무렵)라고도 알려져 있습니다. 여름 기모노에 자주 사용되는 색상입니다.

### • 시온색(시온 이로)

엷은 보라색. 9월부터 10월에 걸쳐 피는 시온 꽃에서 유래합니다. 개화시기가 중추의 명월(9월 중반 무렵에 보이는 달)과 겹치기 때문에, ‘15야 초’라고도 불리고 있습니다. 주로 가을 기모노에 사용됩니다.

### • 포도색(에비 이로)

검은 색을 띤 깊은 보라색. 옛날에는 포도를 ‘에비’라고 불렀기 때문에 이 이름이 붙었습니다. 나라 시대(8세기)에 태어난 색입니다. 포도가 익는 것이 가을이 깊어진 무렵이기 때문에, 가을의 마지막 무렵에 많이 사용되고 있습니다.

### • 수양버들색(아나기 이로)

하얀색을 띤 부드러운 황록색. 수양 버드나무 잎의 색이 유래입니다. 염색 기술이 발달한 에도 시대(17~19세기) 무렵부터, 진짜 버드나무를 염색의 원료로 써 사용하게 되었습니다. 그때까지는 녹색 경사와 백색 위사를 조합하여 버드나무색을 표현했습니다.

### • 호두색(구루미 이로)

붉은 색을 띤 얇은 갈색. 나라 시대부터 있던 색으로, 호두나무의 나무의 껍질이나 열매에서 채취되는 잣물을 사용해서 염색합니다. 원래 종이를 염색하는 데 사용되었습니다. 옷을 염색하는 데 사용된 것은 헤이안 시대에 들어간 이후부터입니다.

### • 정자색(쵸지 이로)

노란색을 띤 갈색. 정자는 향료로 사용되고 있었기 때문에, ‘향색’이라고 불리기도 합니다. 에도시대에는 정자차라는 이름이 되어 일반인들 사이에서 유행했습니다.

### • 한홍(가라구레나이)

선명한 붉은색. ‘한’은 ‘당’으로 대체되어 중국에서 전해진 색이었습니다. 헤이안 귀족에게 사랑받은 색이었지만, 원료인 홍화는 비쌌기 때문에 절은 홍화 염색 기모노는 조금밖에 없었습니다.



옷의 색에 식물의 이름을 붙인 것은, 품위 있고 멋진 일이군요. 소개한 것 중에 여러분은 몇 가지 색상을 알고 있었습니까? 이 밖에도 일본에는 식물에서 유래한 색이 아직도 많이 있습니다. 자연 속에 있는 일본의 전통색을 찾으러 나가 보지 않겠습니까?

### 참고 문헌

일본 색채 학회 ‘산책이 즐거워지는 일본의 색 수첩’ (도쿄 서적, 2021년)

후쿠다 쿠니오 ‘꽃의 색 도감’ (고단사, 2007년)

모리무라 무네 후유 ‘아름다운 일본의 전통색’ (야마가와 출판사, 2013년)

にほんご　い　か　れい　さんこう

せいかい　ひと

やさしい日本語の言い換え例です。参考にしてください。正解は一つではありません。

い  
1. 要り ません

た

2. 食べて ください

すわ

3. 座って ください

いちばんたいせつ

あいて

おも

わ

一番大切なのは、相手を思いやり、分かりやす

つた

き も

く伝えようとする「やさしい気持ち」です。



# うえき あんぎょう 植木のまち 安行

かわぐちし き なに おも う でんとうさんぎょう いもの あんぎょう  
みなさんは「川口市ってどんなまち？」と聞かれたとき、何が思い浮かびますか？伝統産業の鋳物や安行  
うえき おも う おお こんかい うえき ゆた みどり たいせつ  
の植木などを思い浮かべたかたも多いのではないでしょか。今回は植木のまちとして豊かな緑を大切にし  
あんぎょう れきし ふ おも  
ている「安行」の歴史に触れてみたいと思います。



## あんぎょう うえき はじ 安行の植木の始まり

あんぎょううえき れきし いっせつ やくよんひやくねんまえ あかやま とち かいはつ つと いな ただはる しんでんかいはつ しょうれい けいざいりょく かくだい  
安行植木の歴史は、一説によると約400年前に、赤山で土地開発に務めた伊奈忠治が新田開発を奨励して経済力を拡大  
ご かつやく あんぎょうむら よし だ ごん のじゅ はじ ごんのじょう わか とき くさばな ほんさい きょうみ も めずら  
し、その後に活躍した、安行村の吉田権之丞に始まるとされています。権之丞は、若い時から草花や盆栽に興味を持ち、珍し  
くさき あつ さいばい あんぎょう どしつ ふうど てきごう せいいく よ なえぎ かいはつ  
い草木を集めて栽培していました。安行の土質・風土に適合し、その生育が良かったので、これらの苗木の開発にあたったとい  
あんぎょうだいち ひあた この き ひかげ この き たしゅたよう うえき なえぎ そだ てき  
われています。さらに、安行台地は、日当たりを好む木から日陰を好む木まで、多種多様な植木や苗木を育てるこにも適してい  
えど はせせい たいか めいれき ふりそで かじ あと みどり う えど ごんのじょう なえぎ きはなう はじ  
ました。また、江戸で発生した大火（明暦の振袖火事）の後、緑のすっかり失せた江戸に権之丞が、苗木や切り花を売り始め、  
あんぎょううえき えど しんしゅつ せいこう  
安行植木の江戸進出に成功しました。

## しようわ りょくかぶ 一む 昭和の緑化ブーム

にほん こう だけいざいせいかく うえき じゅよう ひやくきて かくだい とく せんきゅうひやくじゅうねんだい かんせんどうろ せいび こうぎょうだんち  
日本の高度経済成長期には、植木の需要が飛躍的に拡大しました。特に1960年代、幹線道路の整備、工業団地や  
じゅうくだんち ぞうせい と しかいはつ だいきぼ こうきょうど ばくじゅう かっぽつ おこな こじんじゅうたく けんちくぶ 一む おお  
住宅団地の造成、都市開発など大規模な公共土木事業が活発に行われていました。また、個人住宅の建築ブームがあり、多  
ひと じぶん にわ みどり もと ていえんづく じゅもく はんぱい りょくかぶ 一む あんぎょう うえき  
くの人が自分の庭に緑を求め、庭園造りのための樹木がたくさん販売されました。このような緑化ブームにより、安行の植木の  
せいさん はんぱい かっぽつ 生産・販売がさらに活発になりました。

## うえき あんぎょう いま 植木のまち 安行の今

うえき あんぎょう とくさんのうぎょう しんこう はか かくしゅじょうほう しゅうしゅう ていきよう おこな きよてんしせつ へいせいはら せんきゅうひやくじゅうろく ねん  
植木のまち・安行の特産農業の振興を図り、各種情報の収集、提供を行なう拠点施設として平成8(1996)年に  
かわぐちりょくかせんたーじゅりあん かいかん みち えき かわぐち へいせつ しきしない うえきちくばいじょ じゅうほく こーなー  
「川口緑化センター(樹里安)」が開館しました。道の駅「川口・あんぎょう」を併設し、敷地内には植木直売所や情報コーナーな  
りくかせんたーほーむベーじ うえきかん さまざま いべんと こうしゅうかい じゅうほくはっしん どうが みりょくはっしん  
どがあります。また緑化センターのホームページでは、植木に関する様々なイベントや講習会の情報発信や、動画で魅力発信  
こんてんつ じゅうじつ み たの  
をするなど、コンテンツが充実しているので、見ているだけでも楽しむことができます。

うえき さんち よんひやくねんねんちか れきし あんぎょう へいせいにじゅうに にせんじゅう ねんじゅうがつ はじ いつばん じゅうたく しせつとう にわ こうかい  
植木の产地として400年近い歴史がある安行で、平成22(2010)年10月に、初めて一般の住宅や施設等の庭を開  
とく おーぶんがーでん かいさい うえきさんぎょう いくせい かんこうゆうち めざ じもときぎょう こうきょうしせつ さんか  
する取り組み、オープンガーデンが開催されました。植木産業の育成と観光誘致を目指し、地元企業や公共施設などが参加し  
いま ていきてき かいさい  
ました。今でも定期的に開催されています。

## あんぎょう せかい 安行と世界のつながり

あんぎょう な こくない せかい な し わた こくさい えんげいはくらんかい  
安行の名は国内にとどまらず、世界にもその名が知れ渡っています。そのきっかけになったのが「国際園芸博覧会  
ふろりあーど えんげいせんしんこく おらんだおうこく じゅうねん いちどかいさい せかいさいだい はな さいでん はな  
(フロリアード)」です。これは園芸先進国であるオランダ王国で10年に1度開催される世界最大の花の祭典で「花の  
おりんびっく い しょうわごじゅうなな せんきゅうひやくはちじゅうに ねん にほんだいひょう あんぎょう うえき なえぎ ほんさいとう ゆそ げんち  
オリンピック」とも言われています。昭和57(1982)年、日本代表として安行から植木や苗木、盆栽等を輸送し、現地  
にほんていえん さくてい ことし ふろりあーど かいさいねん いま つうさんごかいめ しゅうてん さいちゅう こんかい にほんこくしゅうてん  
で日本庭園を作庭しました。今年はフロリアードの開催年で、今までに通算5回目の出展の最中です。今回は、日本国出展の  
いちぶ あんぎょう うえき しよう にほんていえん さくてい かわぐちし りょくかさんぎょう おこな かわぐち  
一部として安行の植木を使用した日本庭園を作庭することで、川口市の緑化産業のさらなるPRを行っています。川口、そして  
あんぎょう なまえ せかい し わた しのみん ひとり ほこ おも  
安行の名前が世界で知れ渡り、市民の一人としてとても誇らしく思います。

か みりょく つ うえき あんぎょう そと で みどり めぐ ふ  
まだまだ書ききれない魅力がたくさん詰まった植木のまち・安行、外へ出かけて緑の恵みに触れてみませんか。



## きんこう 参考

かわぐちりょくかせんたーじゅりあんみちえきかわぐち  
川口緑化センター 樹里安 道の駅「川口・あんぎょう」  
<https://www.jurian.or.jp/>  
にせんにじゅうねんあるめーれこくさいえんげいはくらんかいほーむベーじ  
2022年 アルメーレ国際園芸博覧会ホームページ  
<https://floriade2022.jp/>

## *Angyo, the Town of Garden-Plants*

What comes up in your mind when you are asked “What the City of Kawaguchi is like?”. Some might think of cast iron products, one of the traditional industries of the city, or garden-plants of *Angyo* area. Today, I am going to track back the history of *Angyo*, the town boasts and preserves abundant verdure as the town producing garden-plants.



### Dawning of Cultivation of Garden-Plants in *Angyo*

One version of the story has it that the history of *Angyo*'s garden-plants cultivation started 400 years ago by *Gonnojo Yoshida* of *Angyo* village. By then, the area had successfully been gained economic strength from development of new rice fields conducted by *Tadaharu Ina*, who ardently concentrated on land development from *Akayama* Base. At first, *Gonnojo*, plants and bonsai enthusiast from his youth, was personally collecting and cultivating rare plants. He had found that the soil and natural environment were suitable for raising plants, so he decided to launch on development of saplings. Fortunately, geographical advantage of *Angyo* high ground favored a wide variety of plants to grow whether they thrive in sunny places or in shades. Later, he started selling saplings and cut flowers in the City of Edo that have just lost most of its greenery by the great fire (*Furisode* Fire in Meireki period). That was when *Angyo* garden-plants found its way through to the vast Edo market.

### Tree-Planting Boom of Showa Period

Demand for garden-plants rose tremendously during the period of Rapid Economic Growth in Japan. Especially in the 1960's, owing to large-scale public works such as development of arterial road systems, construction of industrial parks and housing complexes, town development, etc. also owing to the personal residence construction boom, people's desire to have their own gardens stimulated garden-plant market. Thus, this tree-planting boom had boosted the production and sales of *Angyo*'s garden-plants.

### *Angyo* the Town of Garden-Plants Today

In 1996, for the promotion of *Angyo*'s signature agriculture and horticulture, also as the hub of research and provision of information related to those, “Kawaguchi Ryokka (Greenery) Center / Jurian” was opened. This facility is comprised of rest area “Kawaguchi / *Angyo*”, direct sales store of garden-plants, information center, etc. If you cannot visit there right away, please visit its website full of content from information on events and lectures on horticulture to webcast programs informing its charms.

For the first time in its 400 years of history as producing garden-plants, the area held an open-garden experience in October 2010. In that, gardens of locals and facilities were opened to public. Aiming to support garden-plant industry and to attract tourism, local corporations and public facilities were also participated in it. Now, this has become an annual event.



### From *Angyo* to the World

Not within Japan, the name of *Angyo* is widely known to the world. The turning point of that was “International Exhibition and Flower Festival (Floriade)”. This is the biggest flower festival of the world which is held once in a decade in the Netherlands, leading country in horticulture, known also as flowers' Olympic. *Angyo* was officially chosen to represent Japan in the 1982's exhibition. They created a Japanese garden there by transporting plants, saplings, and bonsais all the way to the Netherlands. This year happens to be the Floriade's year. They are in the midst of their 5<sup>th</sup> participation to this EXPO. This time, they made a Japanese garden which makes a part of Japan's exhibition with plants from *Angyo* and appealing Kawaguchi City's greenery industry to the world yet again. Names of *Angyo* and Kawaguchi are now spreading to the world. I am very proud of being belonging to this community.

I have a lot more to tell you about the charms of *Angyo*. Why do not you go out and be blessed with the power of nature?

### Reference

Kawaguchi Ryokka Center / Jurian Rest area “Kawaguchi / *Angyo*”

<https://www.jurian.or.jp/>

Floriade EXPO 2022, Almere, Official website

<https://floriade2022.jp/>



## 园艺树木之乡 安行

当被问及“川口是个什么样的城市？”时，大家会想到什么呢？我感觉，想到了传统产业的铸造物或者安行的园艺树木等的人应当也很多吧。这次我想说说作为园艺树木之乡，珍惜其丰富的绿色资源的“安行”的历史。

### 安行的园艺树木的起源

有一种说法认为，安行园艺树木的历史起源于大约400年前的安行村的吉田权之丞。当时，在赤山担任土地开发工作的伊奈忠治积极地推进新的耕地的开垦，增强了经济实力。在这之后吉田权之丞开始活跃起来。权之丞年轻时就对花草和盆栽感兴趣，还收集和栽培稀有的草木。据说因为安行的土质和气候、地形适合于栽培这些草木，有利于它们的生长，所以他开始从事这类苗木的开发。而且安行台地也适合于培育多种多样的、不管是喜欢阳光的还是喜欢阴凉的园艺树木和苗木。另外，在江户（现东京）发生了那场大火

(明历的振袖大火，发生于1657年)之后，权之丞开始往绿色植物几乎全被烧毁的江户出售苗木和切花，成功地将安行园艺树木打入江户市场。

## 昭和的绿化热潮

在日本经济高度增长的时期，对园艺树木的需求急剧扩大。特别是在1960年代，大规模的公共土木工程的建设，包括主干道的整备、工业区和住宅区的建设以及都市开发等非常活跃。同时，也出现了私人住宅的建筑热潮，许多人都在为自己的院子寻找绿色植物，因此用于庭园建设的树木被大量销售。这股绿化热潮让安行的园艺树木的生产和销售变得更加活跃。



## 园艺树木之乡 安行的现在

为了促进园艺树木之乡·安行的农业特产的振兴，作为收集和提供各类信息的据点设施的“川口绿化中心(树里安)”于1996年开馆。同时还设置了一个道之驿(设在道路边上的综合型休息站)“川口·Angyo”，用地内有园艺树木的直销店和信息角等。绿化中心的主页上还发布有与园艺树木有关的各种各样的活动、讲习会的信息，以及介绍其魅力之处的视频等，内容很丰富。所以即便只是看看网站也可以得到享受。

2010年10月，在作为园艺树木的产地有近400年历史的安行，首次举办了开放式花园展会，开展向公众公开普通住宅和设施等中的庭院的活动。为了培育园艺树木产业和招揽游客，当地企业和公共设施等参加了这次活动。至今，该活动仍然定期举行。

## 安行与世界的联系

安行不仅在日本国内，在世界都很有名。成为其契机的是“国际园艺博览会(Floriade)”。这是世界上最大的花卉节，每十年在荷兰王国这个园艺先进国家举行一次。也被称为“花卉的奥林匹克”。1982年，作为日本的代表，从安行运送园艺树木、苗木和盆栽等到举办地，在那里建造了一个日本庭园。今年是Floriade的举办年，现在正是展览期间，这是我们第五次参展。这次作为日本展览的一部分，在建造日本庭园时使用了安行的园艺树木，对川口市的绿化产业进行了更进一步的宣传。作为一个市民，看到川口、还有安行的名字让全世界的人都知道，我非常自豪。

在园艺树木之乡·安行还有很多很多在这没能描述到的魅力之处。大家何不出门去享受一下大自然的绿色恩惠呢？

## 参考

川口绿化中心树里安 道之驿“川口·Angyo”

<https://www.jurian.or.jp/>

2022年阿尔梅勒国际园艺博览会主页

<https://floriade2022.jp/>



## Angyo thành phố của những cây xanh

Nếu được hỏi “Kawaguchi là thành phố như thế nào?” bạn sẽ liên tưởng đến điều gì? Chắc hẳn sẽ có nhiều người nghĩ đến ngành nghề đúc công nghiệp truyền thống hay hệ thực vật ở Angyo. Hôm nay, tôi muốn giới thiệu về lịch sử của “Angyo” nơi bảo tồn không gian xanh đa dạng được ví như là thành phố của những cây xanh.

### Sự hình thành cây trồng ở Angyo

Lịch sử cây trồng ở Angyo bắt nguồn từ giả thuyết rằng Ina Tadaharu người làm công việc khai phá đất đai, đã khuyến khích sự phát triển đồn điền, mở rộng tiềm năng kinh tế cho vùng Akayama khoảng 400 năm trước, mà sau đó Yoshida Gonnojo người của làng Angyo đã kế thừa hoạt động tích cực. Gonnojo từ nhỏ đã yêu thích hoa, cây cảnh, sưu tầm và trồng các loại cây quý hiếm. Người ta nói rằng thổi nhuộm và khí hậu ở Angyo rất thích hợp cho việc sinh trưởng và phát triển của cây con. Ngoài ra, cao nguyên Angyo còn phù hợp để trồng đa dạng các loại cây từ cây ura nắng đến cây ura bóng râm. Sau trận hỏa hoạn lớn xảy ra ở Edo (vụ hỏa hoạn Furisode thời kỳ Meireki), Gonnojo đã bán cây giống và hoa cát cảnh cho Edo nơi cây xanh đã bị thiêu trụi hoàn toàn, và thành công trong việc đưa cây xanh của Angyo đến Edo.

### Sự bùng nổ phủ xanh thời kỳ Showa

Nhật Bản trong thời kỳ tăng trưởng kinh tế cao độ, nhu cầu về cây xanh tăng vọt. Đặc biệt trong những năm 1960, các dự án công trình dân dụng công cộng như tu chỉnh các tuyến đường huyết mạch, xây dựng khu công nghiệp và khu dân cư, phát triển đô thị đã được tích cực triển khai. Ngoài ra, đây còn là thời kỳ bùng nổ xây dựng nhà ở riêng lẻ, nhiều người tìm kiếm cây xanh cho

vườn nhà mình, nên rất nhiều cây trồng được bán cho các công trình sân vườn. Chính sự bùng nổ phủ xanh này mà việc nhân giống và mua bán cây trồng ở Angyo trở nên phát đạt hơn.



### Angyo ngày nay, thành phố của những cây xanh

“Trung tâm phủ xanh Kawaguchi (Jurian)” được khai trương vào năm 1996 như một cơ sở trọng điểm cung cấp thu thập các thông tin, thúc đẩy nền nông nghiệp đặc trưng của thành phố cây xanh Angyo. Trạm dừng chân “Kawaguchi Angyo” được thiết lập có góc thông tin, cửa hàng bán cây trồng trực tiếp bên trong khuôn viên. Ngoài ra, trên trang web của Trung tâm phủ xanh có rất nhiều thông tin về các sự kiện và hội thảo liên quan đến cây trồng, các video hấp dẫn mà chỉ xem qua là bạn cũng có thể thưởng thức.

Angyo có lịch sử gần 400 năm là khu vực trồng trọt, vào tháng 10 năm 2010 lần đầu tiên sự kiện Vườn mở được tổ chức nhằm hướng đến công khai khu vườn của những ngôi nhà và các tổ chức. Các công ty tại địa phương, cùng các tổ chức đoàn thể đã tham gia với mục tiêu thúc đẩy ngành trồng trọt, và thu hút du lịch. Sự kiện này đến nay vẫn được tổ chức định kỳ.

## Sự kết nối giữa Angyo với thế giới

Tên tuổi của Angyo không chỉ được biết đến ở Nhật Bản mà còn được cả thế giới biết đến. Bắt đầu khởi xướng từ “Triển lãm vườn quốc tế (Floriade)”. Đây là lễ hội hoa lớn nhất thế giới hay còn gọi là “thế vận hội hoa” được tổ chức 10 năm 1 lần tại Vương quốc Hà Lan, đất nước có nền văn hóa làm vườn tiên tiến. Năm 1982, đại diện Nhật Bản đã vận chuyển cây trồng, cây giống, cây bonsai từ Angyo và tạo hình một khu vườn Nhật Bản tại nước sở tại. Năm nay là năm Triển lãm Floriade được tổ chức, tổng cộng đây là lần thứ 5 chúng tôi tham dự triển lãm. Lần này thông qua việc tạo hình một khu vườn Nhật Bản sử dụng các loại cây từ Angyo như một phần triển lãm trong nước Nhật, chúng tôi muốn thúc đẩy quảng bá cho ngành công nghiệp phủ xanh ở thành phố Kawaguchi. Tên Kawaguchi và Angyo được thế giới biết đến, là một người dân của thành phố tôi cảm thấy rất tự hào.

Angyo thành phố của những cây xanh chất chứa đầy sức quyến rũ không thể kể hết. Sao bạn không thử đi ra ngoài và cảm nhận phuộc lành từ cây xanh!

### Nguồn tham khảo

Trung tâm phủ xanh Kawaguchi Juriyasu, trạm dừng chân “Kawaguchi Angyo”

<https://www.jurian.or.jp/>

Trang chủ Triển lãm làm vườn quốc tế Almere năm 2022

<https://floriade2022.jp/>



## 정원수의 마을 안교

여러분은 ‘가와구치시는 어떤 시?’라고 들었을 때, 무엇이 떠오릅니까? 전통 산업인 주물이나 안교의 정원수 등을 떠올리는 분도 많지 않을까요? 이번에는 정원수의 마을로서 풍부한 녹색을 소중히 하고 있는 ‘안교’의 역사를 접해 보도록 하겠습니다.

### 안교 정원수의 시작

안교 정원수의 역사는, 일설에 의하면 약 400년 전에, 아카야마에서 토지 개발을 맡은 이나 타다하루가 신전(새 논 밭) 개발을 장려해 경제력을 확대하고, 그 후에 활약한, 안교촌의 요시다 곤노쥬로 시작한 것으로 알려져 있습니다. 곤노쥬는 어린 시절부터 화초와 분재에 관심을 갖고 특이한 초목을 모아 재배했습니다. 안교의 토질과 풍토에 적합해, 그 생육이 좋았기 때문에, 이러한 묘목의 개발에 적합하다고 합니다. 게다가 안교 대지는 헛별을 좋아하는 나무에서 그들을 좋아하는 나무까지 다종다양한 식목과 묘목을 키우는 테에도 적합했습니다. 또, 에도에서 발생한 큰 불(메이래기 후리소데 화재) 뒤, 녹색을 완전히 잃어버린 에도에 곤노쥬가, 묘목이나 꽃을 팔기 시작해, 안교 정원수는 에도 진출에 성공했습니다.



### 쇼와의 녹화 봄

일본의 고도 경제 성장기에는 정원수의 수요가 비약적으로 확대되었습니다. 특히 1960년대 간선도로 정비, 공업단지와 주택단지 조성, 도시개발 등 대규모 공공 토목사업이 활발히 이루어지고 있었습니다. 또한 개인 주택의 건축 봄이 있어서 많은 사람들이 자신의 정원에 녹색을 필요로 해서 정원을 만들기 위한 나무가 많이 판매되었습니다. 이러한 녹화 봄에 의해, 안교의 식목의 생산 · 판매가 한층 더 활발하게 되었습니다.

### 정원수의 마을 안교의 지금

정원수의 마을 · 안교의 특산 농업의 진흥을 도모하기 위해, 각종 정보의 수집, 제공을 실시하는 거점 시설로서 1996년에 ‘가와구치 녹화 센터(쥬리안)’가 개관했습니다. 도로 휴게소(미치노에키) ‘가와구치 · 안교’를 병설해, 부지 내에는 정원수 직매소나 정보코너 등이 있습니다. 또 녹화 센터의 홈페이지에는, 정원수에 관한 다양한 이벤트나 강습회의 정보 발신이나, 동영상으로 매력을 발신하는 등, 콘텐츠가 충실히으로, 보고 있는 것만으로도 즐길 수 있습니다.



정원수의 산지로 400년 가까운 역사가 있는 안교에, 2010년 10월에, 처음으로 일반의 주택과 시설 등의 정원을 공개하는 오픈 가든이 개최되었습니다. 정원수 산업의 육성과 관광 유치를 목표로, 현지 기업과 공공 시설 등이 참가했습니다. 지금도 정기적으로 개최되고 있습니다.

### 안교와 세계와의 연결

안교의 이름은 국내에 그치지 않고, 세계에도 그 이름이 알려지고 있습니다. 그 계기가 된 것이 ‘국제 원예 박람회 (플로리아드)’입니다. 이것은 원예 선진국인 네덜란드 왕국에서 10년에 1번 개최되는 세계 최대의 꽃 축제로 ‘꽃의 올림픽’이라고도 알려져 있습니다. 1982년, 일본 대표로서 안교에서 식목이나 묘목, 분재 등을 수송해, 현지에서 일본 정원을 만들었습니다. 올해는 플로리아드의 개최해로, 지금 그야말로 통산 5회째 출전 중입니다. 이번에는, 일본 출전의 일부로서 안교의 식목을 사용한 일본 정원을 만드는 것으로, 가와구치시의 녹화 산업을 한층 더 PR하고 있습니다. 가와구치, 그리고 안교의 이름이 세계로 알려져서, 시민의 한 사람으로 매우 자랑스럽게 생각합니다.

아직 다 쓸 수 없는 매력이 많이 담긴 정원수의 마을 안교, 외출해서 녹색의 은혜에 접해 보지 않겠습니까?

### 참고

가와구치 녹화센터 쥬리안 도로 휴게소 ‘가와구치 · 안교’

<https://www.jurian.or.jp/>

2022년 알메레 국제원예박람회 홈페이지

<https://floriade2022.jp/>

# かわぐちしりつぐりーんせんたーい 川口市立グリーンセンターに行ってみよう

かわぐちしりつぐりーんせんたー しょうわよんじゅうに せんきゅうひやくろくじゅうち ねん ぐりーんせんたー かわぐちしりつはなきょくぶつえん かいえん  
川口市立グリーンセンターは、昭和42(1967)年に、グリーンセンター川口市立花木植物園として開園しました。  
ごじゅうねんいじょう れきし こうえん かわぐちしりつ けんがい おおひと おとぎ へいせいがんねん せんきゅうひやくはなじゅつきゅうねん  
50年以上の歴史がある公園で、川口市民だけでなく、県外から多くの人が訪れています。平成元年(1989年)  
には、「日本都市公園100選」に選ばれました。

ぐりーんせんたー なまえ とお じゅもく くさばな たの みどり こうえん  
グリーンセンターという名前の通り、樹木や草花が楽しめる緑がいっぱいの公園で  
こ よう ゆうぐ おとな こ だれ たの  
あるだけでなく、子ども用の遊具もたくさんあり、大人から子どもまで、誰でも楽しむこと  
ができます。

こんかい みりょく ぐりーんせんたー しょうかい  
今回は、そんな魅力がいっぱいのグリーンセンターについて紹介します。



## 【植物】

ぐりーんせんたー き はな う ある たの かだん はな  
グリーンセンターには、あちらこちらにさまざまな木や花が植えられているので、歩いているだけでも楽しめます。花壇の花  
はる ちゅーりつぶ なつ べごにあ さる びあ あき こすもす まりーごーるど ふゆ ばんじー きせつ う か  
は、春はチューリップ、夏はベゴニア、サルビア、秋はコスモス、マリーゴールド、冬はパンジーといったように季節ごとに植え替  
しき かん さくら き はる はなみ たの  
えられ、四季を感じることができます。また、サクラの木もたくさんあるので、春にはお花見を楽しむ  
こともできます。



ねったいしょくぶつ み だいおんしつ ようらん てんじ かんしょうおんしつ ことし さんがつまつ へいかん  
熱帯植物が観られる大温室と洋ランを展示している鑑賞温室は、今年の3月末に閉館してしま  
ぼたにかる とくせつ ページ ぱーじ しょくぶつ  
いましたが、「たなボタニカル」という特設のWebページがあります。このWebページでは植物の  
ふしき くいす まな さんびやくろじゅうど えいぞう だいおんしつ なか じっさい ある たの  
不思議をクイズで学べるほか、360度の映像で大温室の中を実際に歩いているように楽しむ  
ことができます。

## 【遊具】

えんない ひろば ふつう こうえん おおがた ゆうぐ ゆめ こ だいにんき ゆめ  
園内の「わんぱく広場」には、普通の公園にはない大型の遊具「夢ふうせん」があり、子どもたちに大人気です。「夢ふうせん」  
めいろ こ ゆうぐ なか むちゅう ぼうけん  
は迷路のようになっていて、子どもたちは遊具の中を夢中で冒険します。

ひろば たか にじゅめーどる てんぼうす べりだい しり した しーと し ま くら とんねる  
また、「わんぱく広場」には、高さが20mもある「展望スベリ台」もあります。お尻の下にシートを敷いて真っ暗なトンネルの  
なか すべ す びーど すべ おとな はぐりょく  
中を滑りますが、かなりのスピードで滑るので、大人にとっても迫力があります。



ゆうぐ くわ ことし にがつじゅうはちにち ぐりーんせんたー きた  
これらの遊具に加えて、今年の2月18日には、グリーンセンター北  
えりあ あたら ふいーるど あすれちっく おーぶる はやし なか  
エリアに新しくフィールドアスレチックがオープンしました。林の中の  
こうていさ い ねんれい たいゆく あ みつ こーす かべ  
高低差を活かし、年齢や体力に合わせた3つのコースがあります。壁を  
のぼ あみ のぼ くだ ゆ はし わた はやし なか おも  
登ったり、綱を登り下りしたり、揺れる橋を渡るなど、林の中で思いっきり  
うんどう りようりよう おとなさんびやくえん しょうがくせい ちゅうがくせい  
運動することができます。利用料は、大人300円、小学生・中学生・  
こうこうせい ひやくえん しょうがくせい ちい こ はい  
高校生は100円です。小学生よりも小さい子どもは入れません。

## 【ミニ鉄道】

えんない みにてつどう はし いっしゅうやくろっぴやくめーどる こーす とちゅう  
園内をミニ鉄道が走っています。1周約600mのコースの途中には  
とんねる ふみきり えき ちい ほんとう でんしゃ の  
トンネルや踏切、駅があって、小さいながらも本当の電車のようです。乗って  
せんろ そば ある こ て ふ うれ  
いると、線路の傍を歩いている子どもたちが手を振ってくれるのも嬉しいで  
じょうしやりよう いつかいいこひやくにじゅうえん かいすうけん きんまい ごひやくさんじゅうえん  
す。乗車料は、1回220円で回数券(3枚つづり)は530円です。

ぐりーんせんたー い ひと いちどあそ い  
グリーンセンターに行ったことがない人は、ぜひ一度遊びに行ってみてく  
い ひと りにゅーある ぐりーんせんたー  
ださい。また、行ったことがある人も、リニューアルされたグリーンセンターの  
あたら みりょく はつけん  
新しい魅力を発見してみてください。



じゅうしょ さいたまけんかわぐちしあらいじゅくなひやく  
住所:埼玉県川口市新井宿700

でんわ

電話:048-281-2319

かいえんじかん ごぜんくじ ごごごじ にゆうえん ごごよじ

開園時間:午前9時から午後5時 (入園は午後4時まで)

きゅうえんび まいしゅうか ようび しゅくじつ ぱあい つぎ へいじつ きゅうえん

休園日:毎週火曜日(祝日の場合は次の平日が休園)

にゆうえんりょう おとなさんびやくじゅうえん こうこうせい いなかひやくえん あいのどあすれちくみにてつどう にゆうえんりょう べつりょうきん  
入園料:大人310円、高校生以下100円(フィールドアスレチック・ミニ鉄道は入園料とは別に料金がかかります。)

あくせす さいたまこうぞくでつどう あらいじゅくえきいちばんでぐち ひがしもん とほやくじっぷん

アクセス:埼玉高速鉄道(SR)「新井宿駅1番出口」から東門まで徒歩約10分

けいひんとうほくせん かわぐちえき むさしのせん ひがしかわくちえき ばすのい

ちゅうしゃじよう

※JR京浜東北線「川口駅」、JR武藏野線「東川口駅」からバスに乗って行くこともできます。駐車場もあります。

きじ さんがつまつじてん ないよう さいしん じょうほう さいと かくにん  
※記事は3月末時点の内容です。最新の情報はWebサイトで確認してください。

<http://greencenter.1110city.com/>



## Let's Visit Kawaguchi Municipal Green Center

Kawaguchi Municipal Green Center was established in 1967 as "Green Center Kawaguchi Municipal Botanical Garden". In its history of more than 50 years, it is receiving visitors not only from nearby areas in Kawaguchi but also from other prefectures. In 1989, it was chosen as one of "Japan's Best 100 Urban Parks".

As the name suggests, this park is not only full of trees and flowering verdures, but also has lots of playground equipment for children. From kids to grown-ups, this park will entertain every generation who visits there.

Today, I am going to show you all about the Green Center full of attractive things.



### 【Plants】

You can enjoy there just walking and seeing trees and flowers planted all around the park. Tulip in spring, begonia and sage in summer, cosmos and marigold in autumn, pansy in winter..., flowerbeds are re-planted each season for you to feel the seasonal changes. Also, there are lots of cherry trees in the park, so you can enjoy Hanami-cherry appreciation in spring.



Although grand greenhouse in which tropical plants grow and an exhibition greenhouse in which tropical orchids are exhibited are closed this March, they have set up a special Web page called "Tana-Botanical". You can learn the wonders of plants in the form of quiz, enjoy virtual walk in the spacious grand greenhouse with all-around image on the page.

### 【Playground Equipment】

In "WANPAKU-HIROBA" in the park, a unique large scale playground toy "YUME-FUSEN (inflated equipment)" attracts children. Kids can enjoy the adventure in this maze formed YUME-FUSEN.

In "WANPAKU-HIROBA", there is an "Observatory slide" with the height as high as 20m. You slide it on a tarpaulin sheet, but it gains a terrific speed, so it gives quite an impact even on adults.

In addition to this, the new adventure playground has been opened in the north area on February 18<sup>th</sup>. There are three courses making the best use of difference of altitude. You can choose a course you like considering the age and strength. Climbing up the walls, up and down the ropes, walking through shaky bridges, you can move your body to your heart's content. Admission fees are ¥300 for an adult, ¥100 for students and pupils. Sorry, small children under school age is not allowed to enter.



### 【Miniature Train】

Miniature train is running in the park. With a tunnel, crossing, station situated on its 600m track, you almost feel you are riding on a real train. It was wonderful to see that children walking by the track wave their hands at me while I was riding on it. ¥220 for a ride, a set of three tickets is ¥530.

If you have not visited Green Center, visit there by all means. Of course those who are already been there should see the renewed Green Center with full of new attractions.

Address: 700 Araijuku, Kawaguchi City, Saitama.  
 Phone: 048-281-2319  
 Open: from 9:00am to 5:00pm (enter by 4:00pm)  
 Closed: Tuesday (the following day if Tuesday falls on a holiday)  
 Fee: ¥310 for adult, ¥100 for pupils and students under age 18 (not included fees for Adventure Playground · Miniature Train)  
 Access: 10 min. walk from SR-line "Araijuku Station exit No.1"  
     ※Bus route is available from JR Keihintohoku-line "Kawaguchi Station", JR Musashino-line "Higashi Kawaguchi Station". Parking lot on the site.  
 ※Information above is as of the end of March. Check Web site for the up to date.  
<http://greencenter.1110city.com/>

## 去川口市立绿色中心看看吧

川口市立绿色中心于1967年作为绿色中心川口市立花木植物园开园。这是一个拥有50多年历史的公园，不仅川口市民，县外也有很多人来访。1989年它入选为“日本都市公园100选”。

正如绿色中心这个名字一样，它不仅是一个可以让人们欣赏树木和花草的充满绿色的公园，还有很多供小孩玩的游乐设施，因此无论是大人还是小孩，每个人都可以在此玩得尽兴。

下面就介绍一下这个充满魅力的绿色中心。

### 【植物】

在绿色中心，到处都种植着各种各样的树木和花草，仅仅是走走看看就很有趣。花坛按季节交替种植花草，比如，春季种植郁金香，夏季种植秋海棠和鼠尾草，秋季种植波斯菊和金盏花，冬季种植三色堇，因此你可以感受到所有的四季。另外，这里还有很多樱花树，所以春天也可以享受到赏花的乐趣。

可以观赏热带植物的大温室和展示洋兰花的鉴赏温室虽然于今年3月末闭馆了，但是有一个特别制作的网页叫做Tana-botanical(植物书架)。在这个网页上除了可以通过问答方式来学习植物的奥妙之外，还可以欣赏大温室的360度视频，就像真的在其中行走一样。



### 【游乐设施】

园内的“顽皮鬼广场”里有普通公园里没有的大型游乐设施“美梦气球”，很受孩子们的欢迎。“美梦气球”像迷宫一样，让孩子们在游乐设施中着魔般地冒险。

另外，“顽皮鬼广场”还有一个高达20米的“展望滑梯”。在屁股下面铺上垫子，然后在漆黑的隧道中滑行，速度相当快，这对大人们来说也是很有魄力的。

除了这些游乐设施之外，今年2月18日，绿色中心北区新开设了野外体育活动场。利用树林中的高低差异，设有3个适合不同年龄和体力的路线。大家可以在树林中攀岩、上下爬网和穿越摇摆桥等，尽情运动。使用费是成人300日元，小学生、中学生和高中生100日元。比小学生还小的孩子不允许入内。

### 【迷你铁路】

有一条迷你铁路绕着公园跑，在周长大约为600米的线路上有隧道、铁路过道口和火车站，虽然很小，但就像是真的电车一样。当你乘坐在火车上时，在铁轨旁行走的孩子们会向你招手，这也令人高兴。票价为220日元/次，优惠券(3联张)530日元。

没去过绿色中心的人，请一定要去玩一次。另外，去过的人也请试试去发现改建后的绿色中心的新魅力。

地址：埼玉县川口市新井宿700

电话：048-281-2319

开园时间：上午9点到下午5点（入园时间到下午4点为止）

休园日：每周二（周二是节假日的话下一个工作日休园）

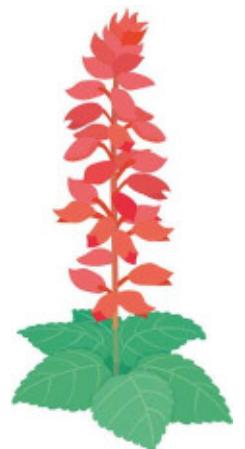
入园费：成人310日元，高中生以下100日元（除入园费之外，野外体育活动场·迷你铁路另外收费。）

交通：埼玉高速铁路(SR)从“新井宿站1号出口”到东门徒步约10分钟

※也可以在JR京浜东北线“川口站”、JR武藏野线“东川口站”乘坐巴士前往。也有停车场。

※本文章记载的是3月末时的内容。请在网站上确认最新的信息。

<http://greencenter.1110city.com/>



## Hãy đến thăm trung tâm Xanh thành phố Kawaguchi

Trung tâm Xanh thành phố Kawaguchi được khánh thành vào năm 1967 với tên gọi trung tâm Xanh vườn Bách thảo thành phố Kawaguchi. Công viên có lịch sử trên 50 năm, được biết đến không chỉ người dân tại Kawaguchi mà còn rất nhiều người ở ngoài tỉnh đến thăm. Năm 1989, nó được bình chọn là một trong “100 Công viên Đô thị tốt nhất Nhật Bản”.

Đúng như tên gọi trung tâm Xanh, công viên không chỉ là nơi ngập tràn cây xanh, nơi bạn có thể thưởng thức cây cối, hoa lá mà còn có nhiều khu vui chơi dành cho trẻ em, bất cứ ai từ người lớn đến trẻ nhỏ cũng rất thích thú.

Hôm nay, tôi muốn giới thiệu với các bạn về trung tâm Xanh với vô vàn điểm thu hút.



### 【Thực vật】

Khắp nơi trong trung tâm Xanh được trồng đủ loại cây cối và hoa lá nên chỉ cần đi bộ thôi cũng có thể tận hưởng. Những bông hoa trong vườn được trồng theo mùa, chẳng hạn như hoa tulip mùa xuân, hoa thu hải đường, hoa xô đô mùa hè, hoa cánh bướm, cúc vạn thọ mùa thu, và hoa păng-xê vào mùa đông để bạn cảm nhận được bốn mùa. Ngoài ra, còn có rất nhiều cây hoa anh đào, vào mùa xuân bạn có thể thưởng thức ngắm hoa.

Trong nhà kính lớn có thể chiêm ngưỡng những loài thực vật nhiệt đới, nhà kính trung bày hoa lan đã đóng cửa vào cuối tháng 3 năm nay. Tuy nhiên, có một trang web thiết kế đặc biệt tên gọi 「Tana botanical」. Trên trang web này bạn có thể tìm hiểu sự kỳ diệu của thực vật thông qua một bài kiểm tra, hoặc có thể thưởng thức hình ảnh 360 độ như bạn đang đi bộ trong một nhà kính lớn.

### 【Khu vui chơi】

Tại “quảng trường Wanpaku” trong công viên có khu vui chơi “Kinh khí cầu ước mơ” với quy mô rộng lớn mà các công viên thông thường không có. “Kinh khí cầu ước mơ” giống như một mê cung mà ở đó trẻ em mê mẩn phiêu lưu khám phá.

Ngoài ra, “quảng trường Wanpaku” có “đài quan sát ống trượt” chiều cao đến 20 mét. Lót một tấm thảm dưới mông, trượt trong đường hầm tối đèn như mục với tốc độ đáng kể cũng rất hấp dẫn đối với cả người lớn.

Thêm vào đó, ngày 18 tháng 2 năm nay khu vực phía bắc trung tâm Xanh đã khai trương khu thể thao vượt chướng ngại vật. Tận dụng độ cao thấp khác nhau của các cây cổ thụ trong rừng có 3 cấp độ theo độ tuổi và thể lực. Bạn có thể vận động hết mình như đang ở trong rừng với các hoạt động trèo tường, leo lên xuống lối, băng qua những cây cầu lắc lư. Phí sử dụng là 300 yên đối với người lớn, và 100 yên đối với học sinh tiểu học, trung học, và cấp 3. Trẻ em nhỏ hơn học sinh tiểu học không thể vào.



### 【Đường sắt mini】

Có một tuyến đường sắt nhỏ chạy trong công viên. Một vòng cho cả chặng khoảng 600m giữa chừng có cả nhà ga, rào chắn tàu, đường hầm giống hệt như một đoàn tàu nhỏ. Thật là vui khi lên tàu và được những đứa trẻ đang đi dọc bên đường ray vẫy tay chào. Phí sử dụng là 220 yên một lần và vé sử dụng nhiều lần (3 vé liên tiếp) là 530 yên.



Nếu chưa đến trung tâm Xanh, nhất định bạn hãy đến đây vui chơi thử một lần. Với những ai đã từng ghé thăm, hãy thử khám phá sự đổi mới đầy hấp dẫn của trung tâm Xanh.



Địa chỉ: số 700 Arai juku, thành phố Kawaguchi, tỉnh Saitama  
Điện thoại: 048-281-2319

Giờ mở cổng: từ 9h sáng đến 5h chiều (giờ vào cổng chỉ mở đến 4h chiều)

Ngày nghỉ: thứ 3 hàng tuần (trường hợp rơi vào ngày lễ sẽ nghỉ vào ngày kế tiếp)

Vé vào cổng: người lớn 310 yên, học sinh cấp 3 trở xuống 100 yên

(vé sử dụng khu thể thao vượt chướng ngại vật, đường sắt mini có tính phí riêng)

Hướng dẫn đường đi: khoảng 10 phút đi bộ từ “ga Arai juku cửa ra số 1” tuyến đường sắt cao tốc Saitama (SR) đến cổng phía Đông của công viên

※Đi xe buýt từ “ga Kawaguchi” tuyến JR Keihin Tohoku; hoặc “ga Higashikawaguchi” trên tuyến JR Musashino.  
Có bãi đậu xe.

※Bài đăng có nội dung vào cuối tháng 3. Xin vui lòng truy cập Website bên dưới để biết thông tin mới nhất.  
<http://greencenter.1110city.com/>

## 가와구치시립 그린센터에 가보자

가와구치시립 그린센터는 1969년에 그린센터 가와구치시립 화목식물원으로 개원했습니다. 50년 이상 역사가 있는 공원에서 가와구치시민 뿐만 아니라 현외에서도 많은 사람들이 방문하고 있습니다. 1989년에는 ‘일본 도시 공원 100선’에 뽑혔습니다.

그린센터라는 이름과 같이 수목이나 화초를 즐길 수 있는 푸르름이 가득한 공원 뿐만 아니라 어린이용 놀이기구도 많이 있어서 어른들부터 아이들까지 누구든지 즐길 수 있습니다.

이번에는 그런 매력이 가득한 그린센터에 대해서 소개하겠습니다.



### 【식물】

그린센터에는 여기저기에 다양한 나무와 꽃이 심어져 있어서 걷는 것만으로도 즐길 수 있습니다. 화단의 꽂은 봄에는 툴립, 여름에는 베고니아, 셀비어, 가을에는 코스모스, 메리골드, 겨울에는 팬지 등 계절별로 바꿔 심어 사계절을 느낄 수 있습니다. 또 벚나무도 많이 있어서 봄에는 벚꽃놀이를 즐길 수 있습니다.

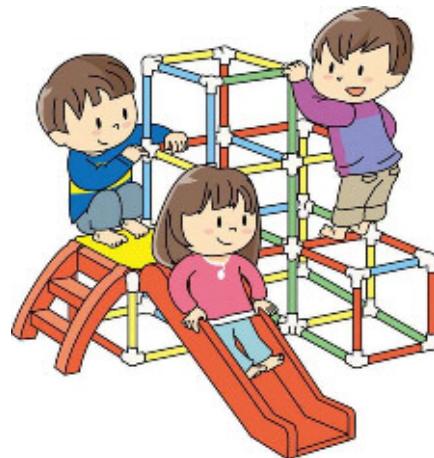
열대식물을 볼 수 있는 대온실과 양란을 전시하고 있는 감상온실은 올 3월말에 폐관 했으나 ‘선반 보태니컬’이라는 특설 Web 페이지가 있습니다. 이 Web 페이지에는 식물의 불가사이를 퀴즈로 배울 수 있는 것 외에 360도 영상으로 대온실 안을 실제로 걷고 있는 것처럼 즐길 수 있습니다.

### 【놀이기구】

공원 내의 ‘장난꾸러기 광장’에는 보통 공원에는 없는 대형 놀이기구 ‘꿈풍선’이 있어 어린이들에게 인기가 많습니다. ‘꿈풍선’은 미로처럼 되어 있어 어린이들은 놀이기구 안을 정신없이 모험합니다.

또한, ‘장난꾸러기 광장’에는 높이 20m나 되는 ‘전망 미끄럼틀’도 있습니다. 엉덩이 밑에 시트를 깔고 캄캄한 터널 안을 미끄러지는데 매우 빠른 속도로 미끄러지므로 어른에게도 박력이 있습니다.

이런 놀이기구에 올해 2월 18일에는 그린센터 북쪽 영역에 새로운 필드 애슬레틱이 오픈했습니다. 숲속의 높고 낮음을 살려서, 연령이나 체력에 맞춘 3개의 코스가 있습니다. 벽을 오르거나 그물을 오르내리거나 흔들리는 다리를 건너는 등 숲속에서 마음껏 운동할 수 있습니다. 입장료는 어른 300엔, 초등학생·중학생·고등학생은 1000엔입니다. 초등학생보다 어린 아이는 들어갈 수 없습니다.



### 【미니철도】

공원 내를 미니철도가 달리고 있습니다. 한 바퀴 약 600m 코스 도중에는 터널과 건널목, 역이 있어 작지만 진짜 전철 같습니다. 타고 있으면 선로 옆을 지나가는 어린아이들이 손을 흔들어 주는 것도 기쁩니다. 승차요금은 1회에 220엔으로 회수권(3장 묶음)은 530엔입니다.

그린센터에 가 본 적이 없는 사람은 꼭 한번 놀러가 보세요. 또, 가 본 적이 있는 사람도 리뉴얼된 그린센터의 새로운 매력을 발견해 보세요.



주소: 사이타마현 가와구치시 아라이주쿠 700

전화: 048-281-2319

개원시간: 오후 9시부터 오후 5시(입원은 오후 4시까지)

휴원일: 매주 화요일(공휴일인 경우에는 다음 평일이 휴원)

입장료: 어른 310엔, 고등학생이하 100엔 (필드 애슬레틱·미니철도는 입장료는 별도로 요금이 듭니다.)

엑세스: 사이타마고속철도(SR) ‘아라이주쿠역 1번 출구’에서 동문까지 도보 약 10분

※ JR 게이힌토호쿠선 ‘가와구치역’, JR 무사시노선 ‘히가시카와구치역’에서 버스를 타고 갈 수 있습니다. 주차장도 있습니다.

※ 기사는 3월 말 시점의 내용입니다. 최신 정보는 Web사이트에서 확인하십시오.

<http://greencenter.1110city.com/>

からふる たぶんか ふえすた  
 COLORFUL(カラフル)ふえすた × 多文化ふれあいフェスタ  
 こころ こころ つな さき  
 ~ココロとココロを繋ぎ、その先へ!~

令和4(2022)年2月19日(土)に、川口駅前市民ホール・フレンディアで「COLORFUL(カラフル)ふえすた×多文化ふれあいフェスタ」を開催しました。このイベントには、性別や国籍に関係なく、誰もが自分らしく生き、それぞれの良さを認め合える社会になってほしいという願いが込められています。「COLORFUL(カラフル)ふえすた」では、「みんなが主役～家族の育児～」フォトコンテストの応募作品や、多様な性に関するパネル展示をすることで、男女共同参画への意識啓発を行いました。そして「多文化ふれあいフェスタ」は、多文化共生を推進するために初めて開催しましたので、これから詳しく紹介します。

がいこく でんとうぶんか かんれん わーくしょっぷ  
外国の伝統文化などに関連するワークショップ

協働推進課に勤務している国際交流員・外国人相談員が講師になり、各の伝統文化や生活習慣を紹介して、ワークショップを行いました。日本との違いに「新しい発見があって楽しい、異文化を知ることは勉強になる」と大好評でした。ワークショップの一覧は次のとおりです。

くに 国	わーくしょっぷ の内容
ちゅうごく 中国	あか えんぎもの ちゅうごむす きえ 赤い縁起物「中国結び、切り絵」
べとなむ ベトナム	しあわ はこ ぱらんす 幸せを運ぶとんぼ「バランスとんぼ」
かんこく 韓国	でんとうでき け あそ ちえぎ せいさく 伝統的な蹴る遊び「チエギ」制作
ふいりびん フィリピン	くりりますますかざ ぱるる のりあいばす じーぶにー クリスマス飾り「パロル」、乗合バス「ジープニー」
とるこ トルコ	まよ なぎーる ばんじゅう とるこいし つか あくせさりー 魔除け「ナザール・ボンジュウ」、トルコ石を使ったアクセサリー
いぎりす イギリス	いーすたーえっぐ そざい まぐねうと ねーむぶれーと 「イースターエッグ」を素材にしたマグネットやネームプレート



参加した皆さんが夢中になって手を動かし、作り終えた作品を講師と見せ合う姿がとても微笑ましく、印象的でした。作品を自宅に飾ったり、日常生活で使ったりして、今回のイベントを思い出してもうれしいです。

がいこく みんぞくいしょう てんじ  
外国の民族衣装の展示

今日は、中国のチャイナドレス、韓国の韓服(ハンボク)、ベトナムのアオザイを展示しました。色や素材、縫製や飾りなど、間近で見たり触れたりすることで、その美しさや織細さに歓喜の声が上がるほどでした。コロナ禍が過ぎたら、試着体験コーナーを設けてもっと楽しんでほしいと思います。



かわぐち わかし いま しゃしんでん  
「川口の昔と今」写真展

昭和の前半から後半、平成にかけての写真を展示しました。中でも昭和前半の川口駅周辺の写真は今と全く異なっていて、発展して様子が大きく変わったことに、来場した方は感心していました。

かわぐち よ ちず せいさく たいけん  
「川口の良いところ」地図の制作・体験

川口の良いところや好きなところを付せんに書いて地図に貼る、体験コーナーです。「大きな商業施設がある、駅前が便利で生活しやすい」や「自然あふれる公園がたくさんある」といった付せんが多く見られました。都市機能と自然環境が合わさった「川口」を感じている方が多いですね。

しがたころなういるすかんせんぼうしたいさくばんぜん  
新型コロナウィルス感染防止対策を万全にしたので、予定より小規模になりましたが、来場した方一人一人に、異文化を

し たの つた かん  
知る楽しさが伝わったと感じています。  
い べ ん と じ ゆ か い ら い ね ん か い さ い よ て い  
イベント紹介はいかがでしたか？来年も開催予定ですので、  
き ょ よ み か た こ  
興味のある方はぜひお越しくださいね。

た ぶ ん か ふ え す た か ん と あ  
■「多文化ふれあいフェスタ」に関する問い合わせ  
し み ン せ い か つ ぶ き う ど う す い ん か た ぶ ん か き う せ い か か ゆ  
市民生活部 協働推進課 多文化共生係  
か わ ぐ ち し か わ ぐ ち い ち い ち い ち ゆ ぼ ら ほ ん か ん ど う え む ほ ん か い  
〒332-0015 川口市川口1-1-1 キュボ・ラ本館棟M4階  
か よ う び ど よ う び ご ゼ ん く じ ご ご ご じ ゆ う ご ぶ ん  
火曜日～土曜日 午前9時～午後5時15分  
TEL:048-227-7607 FAX:048-266-7718



## COLORFUL FESTA × MULTICULTURAL FUREAI FESTA ～Embracing our ties, envision our future!～

On February 19<sup>th</sup> 2022 (Saturday), we held “COLORFUL FESTA × MULTICULTURAL FUREAI FESTA” at the Municipal event hall·FRENDIA. This event was planned with a hope for the realization of society in which every resident can recognize each one’s virtue by respecting each individuality regardless of gender or nationality. At “COLORFUL FESTA”, we emphasized the importance of Gender Equality by exhibiting the works sent in to the competition; “We All Should Play the Leading Role: ~Intra-familial Child Rearing~”, and panels regarding gender and sexual diversity. In addition to this, we finally succeeded in holding our first ever “MULTICULTURAL FUREAI FESTA” on the same venue. Today, let me show you every nook and cranny of this event.

### Traditional handicraft workshops

Coordinators for International Relations and Counselors for Non-Japanese Speakers working at Promotion of Civic Cooperation Division became teachers for a day to introduce their home country traditions and led handicraft lessons. “It is fun to discover new things in here. To know about different culture turns out to be very educational”. Seeing differences between Japan and each with their own eyes, the program was well-received. Below is the list of workshops we had.

Country	Workshops and Presentation
China	Red colored good luck charm, “Macramé Chinese lucky knot & Paper-cutting Art”
Vietnam	Brings you happiness, “Balancing dragonfly”
Korea	Traditional Korean kicking game, “Chiegi”
Philippine	Christmas lantern “Parol” and shared transport vehicle “Jeepney”
Turkey	Amulet made of turquoise, “Nazar Boncuğu”
UK	“Easter egg” shaped magnet plates & name plates



It was very touchy and impressive observing participants ardently working, and showing their own work to teachers. We hope each work of art will be displayed or used at each new home and become a reminiscent of this year’s event.

### Exhibition of Traditional Clothing

This year we had traditional clothing from China (Chi-pao), Korea (Hanbok), Vietnam (Ao dai) in our exhibition. Taking closer look at their colors, materials, sewing techniques and ornaments, viewers almost cried out with admiration for its beauty and fineness. When this COVID-19 woe ceased, we would like you all to enjoy more of this exhibition by holding a booth in which you can try it on.

### Photo Exhibition “Kawaguchi City, Past and Present”

Photos of Kawaguchi City taken from mid to late Showa period and through Heisei period were gathered in one place. Amongst all, photos of Kawaguchi Station area taken in early Showa period gave us totally different impression that of today and attracted people so much for its drastically changed scenery.

### Create a “Recommendable Spots in Kawaguchi City” Map

On this program, we had visitors to write good points and recommendable spots on tags then stick them to a large blank map. We could spot a lot of “Have a large commercial facility, station front area is lively and

convenient for us to live”, “Have lots of parks full of greens”, etc. tags on that map. We have got an impression that quite a lot of people thinks the City of Kawaguchi as the well-mixture of city function and natural environment.

The size of the event became much smaller than we had initially planned due to taking every possible preventive measures against COVID-19 infectious diseases. However, we think we could deliver the fun part of knowing different cultures to all participants.

How do you find our event? We are already planning next one and ready for welcoming visitors who got interest in this event.



### ■Inquiry on “MULTICULTURAL FUREAI FESTA”

Multicultural Coexistence Desk, Promotion of Civic Cooperation Division, Civic Life Department.

〒332-0015 M4F Cupo·la Main Bldg. 1-1, Kawaguchi 1-Chome, Kawaguchi City.

Tuesday – Saturday 9:00 am – 5:15 pm.

Phone : 048-227-7607 FAX : 048-266-7718



## COLORFUL (多彩) 节×多文化交流节 ～心连心，一起向前走！～

2022年2月19日（星期六），在川口站前市民大厅FRIENDIA举办了“COLORFUL (多彩) 节×多文化交流节”活动。举办这次活动是希望实现一个让每个人，无论性别或国籍，都能按照自己的意愿生活，并且能够相互认可对方的价值的社会。“COLORFUL (多彩) 节”活动通过展示“人人都是主角—家庭育儿—”摄影比赛的参赛作品，以及与性别多样化相关的展板，提高了来观看展示的人对男女共同参与的认识。另外，首次举办的“多文化交流节”活动是为了促进多文化共生。接下来对它进行详细的介绍。

### 与外国的传统文化等相关联的工作坊

由在协助推进课工作的国际交流员和外国人咨询员担任讲师，介绍了各个国家的传统文化和生活习惯，并开展了工作坊活动。与日本的不同之处让这个活动大受好评，参加者说：“新的发现让我感到快乐，了解不同文化能让我学到很多”。工作坊一览表如下。

国家	工作坊的内容
中国	红色吉祥物“中国结、剪纸”
越南	带来幸福的蜻蜓“平衡蜻蜓”
韩国	踢着玩的传统游戏“毽子（韩国式）”的制作
菲律宾	圣诞装饰品“星星灯”，客运巴士“吉普尼”
土耳其	辟邪用的“邪眼”、用土耳其石头制成的首饰
英国	以“复活节彩蛋”为素材制作的磁铁贴和名字牌



参加工作坊的每个人都全神贯注地动手制作，并向讲师展示了自己完成的作品。这种场景令人欣慰，给我们留下了深刻的印象。如果大家能将作品装饰在自己家中，或者在日常生活中用上它们，让大家回想起这次活动，那我们会很高兴。



### 外国民族服装的展示

本次展出了中国的旗袍、韩国的韩服（Hanbok）和越南的奥黛。参加者们在近距离观看和触摸它们，惊叹它们的颜色、素材、缝制和装饰等的漂亮和精致，甚至发出了欢呼声。新冠病毒疫情过后，我们想设置一个可以试穿服装的体验角落，让大家能享受到更大的乐趣。

### 《川口的今昔》摄影展

展示了从昭和的前半期到后半期，再过渡到平成的这个时期的照片。其中的昭和前半期的川口站周边的照片，与现在的景观完全不同。该地区发展之后的景观大变化让参加者们赞叹不已。

### 《川口的美好之处》地图的制作和体验

这是一个体验角，参加者们在便签上写下川口的美好之处或者他们喜欢川口什么，并贴在地图上。很多便签上写着这样的话：“有大型商业设施，川口站附近生活很方便、舒适”、“有很多充满自然气息的公园”。可见很多参加者感受到了都市功能与自然环境融合为一体的“川口”。

我们采取了周全的措施来防止新型冠状病毒的传播，所以虽然活动规模比预定的要小，但我们觉得每一位参加者都享受到了了解不同文化的乐趣。

以上关于本次活动的介绍您觉得怎么样？这个活动明年将继续举行，如果您感兴趣，请一定要来参加哦。

## ■有关“多文化交流节”的咨询

市民生活部 川口市协动推进课 多文化共生系  
〒332-0015 川口市川口1-1-1 Cupo・1a本馆栋M4层  
星期二～星期六 上午9点～下午5点15分  
电话: 048-227-7607 FAX: 048-266-7718



## LỄ HỘI ĐA SẮC MÀU VÀ LỄ HỘI GIAO LUƯ ĐA VĂN HÓA ~Kết nối trái tim với trái tim và hơn thế!~

Vào ngày 19 tháng 2 năm 2022 (thứ bảy), tại hội trường thị dân trước ga Kawaguchi - Frendia đã diễn ra lễ hội đa sắc màu và lễ hội giao lưu đa văn hóa. Tại sự kiện này, chúng tôi mong muốn tạo nên một xã hội mà ở đó, tất cả mọi người không phân biệt giới tính, quốc tịch, có thể thề hiện bản thân và nhìn nhận những điểm tốt đẹp của nhau. Tại “lễ hội đa sắc màu”, chúng tôi đã nâng cao nhận thức trong bình đẳng giới bằng các tác phẩm tham dự cuộc thi ảnh “con người là chủ đạo ~ nuôi dạy trẻ trong gia đình ~” và triển lãm tranh thể hiện sự đa dạng. “Lễ hội giao lưu đa văn hóa” lần đầu tiên được tổ chức để thúc đẩy cộng đồng đa văn hóa nên chúng tôi sẽ giới thiệu chi tiết hơn sau đây.

### Hội thảo liên quan đến văn hóa truyền thống nước ngoài

Nhân viên giao lưu quốc tế, nhân viên tư vấn người nước ngoài đang làm việc tại Ban xúc tiến hợp tác trở thành giảng viên, giới thiệu về văn hóa truyền thống, tập quán cuộc sống của các nước và tiến hành hội thảo. Mọi người đã đánh giá cao nội dung “điều thú vị từ các phát hiện mới, học hỏi từ các nền văn hóa khác nhau” với nhiều điểm khác biệt so với Nhật. Danh sách nội dung buổi hội thảo như sau.

Quốc gia	Nội dung hội thảo
Trung Quốc	Vật đem lại may mắn “nút dây Trung Quốc, tranh cắt giấy”
Việt Nam	Chuồn chuồn mang lại hạnh phúc “chuồn chuồn thăng bằng”
Hàn Quốc	Cùng làm “Chegi” chơi đá cầu kemari truyền thống.
Philippin	“Đèn parol” trang trí giáng sinh, “xe jeepney” xe bus đón tập trung
Thổ Nhĩ Kì	“Con mắt Nazar Boncugu” trừ ma quỷ, phụ kiện dùng đá xanh ngọc
Anh	Bảng tên và nam châm sử dụng “trứng phục sinh” làm nguyên liệu



Thật ấn tượng và thú vị khi nhìn dáng vẻ những người tham gia đăm chìm trong việc làm sản phẩm bằng tay và đưa cho giáo viên xem các tác phẩm vừa hoàn thành. Chúng tôi rất vui khi những sản phẩm được mang về nhà để trang trí, sử dụng trong cuộc sống thường ngày và luôn nhớ đến sự kiện lần này.



### Triển lãm trang phục dân tộc nước ngoài

Lần này chúng tôi đã trưng bày áo sườn xám của Trung Quốc, áo hanbok của Hàn Quốc và áo dài của Việt Nam. Bằng việc nhìn, sờ để cảm nhận trực tiếp màu sắc và chất liệu, đường may và vật dụng trang trí, mọi người đã thốt lên ngạc nhiên về vẻ đẹp và sự tinh tế trong trang phục. Nếu dịch Corona lắng xuống, chúng tôi mong muốn mọi người sẽ vui vẻ hơn với việc tạo ra góc trải nghiệm mặc thử trang phục.

### Triển lãm ảnh “Kawaguchi – ngày xưa và bây giờ”

Đây là cuộc triển lãm ảnh từ nửa đầu thời kỳ Showa đến nửa sau và thời kỳ Heisei. Trong đó, những bức ảnh xung quanh ga Kawaguchi nửa đầu thời kỳ Showa hoàn toàn khác với bây giờ và ngày càng phát triển tạo ra sự thay đổi lớn khiến những người đến xem triển lãm rất ấn tượng.

### Làm và trải nghiệm với bản đồ “những địa điểm đẹp ở Kawaguchi”

Đây là góc trải nghiệm cho phép mọi người viết lên giấy ghi nhớ về những nơi thú vị, những nơi được ưa thích ở Kawaguchi và dính lên bản đồ. Chúng tôi đã nhìn thấy rất nhiều tờ giấy ghi nhớ với nội dung như “trước ga có một trung tâm thương mại lớn rất tiện lợi và dễ sống”, “có rất nhiều công viên ngập tràn sắc xanh”. Có nhiều người đã cảm nhận về “Kawaguchi” là thành phố kết hợp giữa sự hiện đại của đô thị và môi trường thiên nhiên.

Vì phải triệt để thực hiện các giải pháp phòng chống lây nhiễm virut corona chủng mới, chúng tôi đã tổ chức quy mô nhỏ hơn so với dự định, nhưng chúng tôi cảm thấy rằng mỗi khách tham quan đến với triển lãm đều cảm nhận được niềm vui khi tìm hiểu về nền văn hóa các nước.

Bài giới thiệu sự kiện này thật thú vị nhỉ? Năm tới đã có kế hoạch tổ chức, quý vị có quan tâm nhất định hãy đến tham quan nhé.

### ■Câu hỏi liên quan đến “lễ hội giao lưu đa văn hóa”

Phòng Cuộc sống người dân – Ban Xúc tiến hợp tác – Bộ phận Cộng đồng đa văn hóa  
Mã số bưu điện 332-0015 Kawaguchi-shi, Kawaguchi 1-1-1 Tòa nhà chính Cupo・la, tầng M4  
Mở cửa từ thứ ba đến thứ bảy, từ 9 giờ sáng đến 5 giờ 15 phút chiều.  
Điện thoại: 048-227-7607, số fax: 048-266-7718



COLORFUL(컬러풀)페스타×다문화 교류 페스타  
~마음과 마음을 잊는, 그 앞에!~



2022년 2월 19일(토)에 가와구치역앞 시민홀 · 프렌디아에서 ‘COLORFUL(컬러풀)페스타×다문화 교류 페스타’를 개최했습니다. 이 이벤트에는 성별이나 국적에 관계없이 누구든지 자기답게 살고 각각의 좋은 점을 서로 인정하는 사회가 되기를 바라는 마음이 담겨 있습니다. ‘COLORFUL(컬러풀)페스타’에는 ‘모두가 주역~ 가족의 육아~’포토콘테스트의 응모작품과 다양한 성에 관한 판넬을 전시하므로 남여공동참획을 많은 분들에게 알렸습니다. 그리고 ‘다문화 교류 페스타’는 다문화 공생을 추진하기 위해서 처음으로 개최하였으므로 지금부터 자세히 소개하겠습니다.

#### 외국 전통문화 등에 관련된 워크숍

협동추진과에 근무하고 있는 국제교류원과 외국인상담원이 강사가 되어 각국의 전통문화와 생활습관을 소개하고 워크숍을 했습니다. 일본과 다른 “새로운 발견이 있어서 즐거웠다”, “이문화를 아는 것은 공부가 된다”고 대단히 좋은 평판을 받았습니다. 워크숍 일람은 다음과 같습니다.

나라	워크숍 내용
중국	빨간 운이 좋은 물건 ‘중국매듭’, 잘라서 만든 그림’
베트남	행복을 운반하는 잡자리 ‘균형 잡자리’
한국	전통적인 제기 놀이 ‘제기’제작
필리핀	크리스마스 장식 ‘파롤’, 승합버스 ‘지프니’
터키	마귀 쫓는 ‘나자르 본주’, 터키 돌을 사용한 악세서리
영국	‘부활절 달걀’을 소재로 한 마그넷과 네임플레이트



참석한 분들은 열중해서 손을 움직여 만들고 다 만든 작품을 강사와 서로 보여주는 모습이 너무 보기좋고 인상적이었습니다. 작품을 집에 꾸미거나 일상생활에서 사용하며 이번 이벤트를 기억하면 좋겠습니다.

#### 외국의 민족의상 전시

이번에는 중국의 차이나드레스, 한국의 한복, 베트남의 아오자이를 전시했습니다. 색과 소재, 봉제, 장식 등, 가까이에서 보거나 만지거나 하면서 그 아름다움과 섬세함에 환희의 목소리가 높아질 정도였습니다. 코로나 재앙이 끝나면, 시착 체험 코너를 만들어 더욱 즐기면 좋겠다고 생각합니다.

#### ‘가와구치의 옛날과 지금’ 사진전

쇼와 전반부터 후반, 혜세이에 걸쳐 사진을 전시했습니다. 그 중에서도 쇼와 전반의 가와구치역 주변의 사진은 지금과 전혀 달라져서, 발전한 모습이 크게 변한 것에 오신 분들은 감탄하고 있었습니다.

#### ‘가와구치의 좋은 곳’ 지도의 제작 · 체험

가와구치의 좋은 곳과 좋아하는 곳을 포스트잇에 적어 지도에 부치는 체험코너입니다. “큰 상업시설이 있는 역앞이 편리하고 생활하기 편하다”나 “자연이 풍부한 공원이 많이 있다”라는 포스트잇이 많이 보였습니다. 도시기능과 자연환경이 결합된 ‘가와구치’를 느끼시는 분들이 많네요.

신종 코로나바이러스 감염방지대책에 만전을 기했기 때문에 예정보다 소규모가 되었습니다만 오신 분들 한사람 한사람에게 이문화를 아는 즐거움이 전해졌다고 느끼고 있습니다.

이벤트 소개가 어땠어요? 내년에도 개최할 예정이므로 관심이 있으신 분은 꼭 오시기 바랍니다.

#### ■ ‘다문화 교류 페스타’에 관한 문의

시민생활부 협동추진과 다문화공생계

〒332-0015 가와구치시 가와구치 1-1-1 큐폴라 본관동M4층

화요일~토요일 오전9시00분~오후5시15분

TEL : 048-227-7607 FAX : 048-266-7718



# たぶんかきようせいかりょうかいじょくばん 多文化共生係紹介文

はじめまして。関根めぐみと申します。令和4(2022)年4月から中途採用職員として多文化共生係に配属されました。前職では、東京の区役所で勤務し、地域活性化や広報業務に携わりました。また、ネパールの行政機関で勤務した経験があります。

ネパールでは、村落部で生活する女性たちの収入向上と生活改善に取り組みました。初めのうちは、言葉や文化が分からず、不安な思い

でいっぱいでした。ネパールの人々に迷惑をかけてしまったこともあった

と思います。でも、ネパールの人々は、嫌な顔をせず、ゆっくりと簡単な

ネパール語を用いてコミュニケーションをとってくれました。一緒にお茶

を飲んだり、ご飯を食べたりしながら、お互いの文化について話し合うことで理解を深め合いました。

ネパールの人々は、私のことを「**दिदी**(姉)」あるいは「**बहिनी**(妹)」と呼び、本当の家族のように慕ってくれました。ネパール

の人々に支えてもらったおかげで、多くのことを学びつつ、日々の生活を満喫しました。また、ネパールの人々と協力しながら

現地の課題解決に向けて一つひとつ取り組み、職務を遂行することができました。帰国後は、ネパールでの経験を活かしながら

ら、国際協力団体で勤務したり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の運営に携わったりしました。

私は、これまでの経験を通じて、言葉や文化が異なる環境で生活することの難しさを痛感しています。一方で、お互いの

文化について理解し尊重し合うことで、学びえることも多くあるはずと感じています。この情報誌が生活に役立つ情報を入手

するとともに、多様な文化を理解し合うためのツールになればと考えております。そのための一助を担うができるように、

日々、全力で取り組んでまいります。よろしくお願いします。



## Multicultural Coexistence Desk Introduction

Nice to meet you. My name is Megumi Sekine. As a mid-career recruit, am assigned to Multicultural Coexistence Desk from April 2022. Previously, I have been engaged in regional revitalization and public relations at a Ward Office in Tokyo. Also, have experience of working at an administrative agency in Nepal.

In Nepal, I have worked for securing income stream and improving living conditions of women live in village communities. At first, I was so nervous due to my ignorance of language and cultural habit there. I am afraid I had, more than once, unconsciously annoyed people in Nepal for that. Nevertheless, they, without showing the slightest sign of annoyance, always tried to make communication in slow, plain Nepalese with me. Over a tea or having meal together, we fostered a better understanding each other by talking about our cultures.

People in Nepal called me as “**दिदी** (elder sister)” or “**बहिनी** (younger sister)” and treated me if I were a member of their families. Thanks to their support, I was able to learn lots of things and enjoy spending the time there. Also, I successfully performed my duties by tackling with problems one by one by cooperation with people there. After my returning to Japan, I made the best of my experience to work for an international cooperation organization, then participated in the Tokyo 2020 Olympic/Paralympic Games’ operations.

Through my experience, I am fully aware of how hard it is to live in a circumstance with language and cultural differences. On the other hand, we can learn lots of lessons by understanding and respecting each other’s culture. I hope this newsletter will become a tool for you in obtaining useful information in your daily life and in understanding cultural diversity. Wishing to be a help for that, I will turn all my energies in carrying out the tasks before my eyes. I look forward to getting to know you all. Thank you.



## 多文化共生系員简介

大家好。我叫关根惠。2022年4月开始作为中途录用职员被分配到多文化共生系。之前，我在东京的区政府工作，负责地域振兴和宣传工作。此外，我还在尼泊尔的行政机关工作过。

在尼泊尔，我致力于提高生活在村落地区女性的收入和生活改善。刚开始的时候，因为不懂当地的语言和文化，我感到很不安。虽然也给尼泊尔的人们增添了不少麻烦，但是，尼泊尔的人们并没有因此而露出厌烦的表情，而是用简单的尼泊尔语慢慢地和我交流。我们一起喝茶，一起吃饭，通过对彼此文化的交流而加深了相互之间的理解。

尼泊尔的人们称呼我为“**दिदी**（姐姐）”或者“**बहिनी**（妹妹）”，像对待自己的家人一样关爱我。正因为有了他们的支持，我学到了很多，每天都过得非常充实。同时，在他们的协助下，我也逐一解决了当地的各项课题，顺利完成了自己的工作。回国后，我发挥在尼泊尔的经验，在国际合作组织工作，并参与了2020年东京奥运会和残奥会的运营工作。

通过这些经验，我深切地体会到生活在不同语言和文化环境中的困难。另一方面，通过理解和尊重彼此的文化，应该有很多值得相互学习的东西。我希望这本情报杂志，在为大家提供对生活有用的信息的同时，也能成为大家理解不同文化的工具。为了能在促进这一目标的实现中贡献一份力量，我将全力以赴。请多关照。



### Giới thiệu nhóm Cộng đồng đa văn hóa

Xin chào các bạn! Tôi tên là Sekine Megumi. Từ tháng 4 năm 2022 tôi được bổ nhiệm vào vị trí Cán bộ tuyển dụng cấp trung bộ phận Cộng đồng đa văn hóa. Công việc trước đây của tôi là phụ trách việc thúc đẩy phát triển khu vực và quan hệ công chúng tại văn phòng Quận ở Tokyo. Ngoài ra, tôi từng làm việc cho Phòng hành chính nước Cộng hòa Dân chủ Liên bang Nepal.

Ở Nepal, chúng tôi nỗ lực làm việc để giúp cải thiện cuộc sống và thu nhập cho phụ nữ sinh sống tại các vùng nông thôn. Lúc đầu, tôi không hiểu về ngôn ngữ lẫn văn hóa nên đã rất lo lắng. Tôi từng nghĩ mình sẽ gây rắc rối phiền toái cho người dân Nepal. Tuy nhiên, người dân Nepal không hề tỏ ra khó chịu mà ngược lại còn giúp tôi bằng cách giao tiếp chậm rãi, đơn giản dễ hiểu tiếng Nepal. Chúng tôi hiểu sâu sắc về văn hóa của nhau qua những lúc cùng ngồi uống trà và ăn cơm.

Người Nepal gọi tôi là 「**दिदी** (chị)」 hoặc 「**बहिनी** (em)」 yêu quý tôi như người trong gia đình. Nhờ sự hỗ trợ của người dân Nepal tôi đã học hỏi được rất nhiều điều, và tận hưởng cuộc sống mỗi ngày. Với sự hợp tác của người dân Nepal, tôi nỗ lực để giải quyết từng vấn đề tại địa phương, hoàn thành nhiệm vụ của mình. Sau khi trở về Nhật, bằng những kinh nghiệm tích lũy ở Nepal tôi làm việc cho một tổ chức hợp tác quốc tế, tham gia hoạt động quản lý Thế vận hội Olympic và Paralympic Tokyo 2020.

Qua những kinh nghiệm mình có được, tôi thấu hiểu sự khó khăn khi sinh sống trong môi trường mà ngôn ngữ và văn hóa khác nhau. Nhưng, tôi lại cảm thấy rằng có rất nhiều điều mà chúng ta có thể học hỏi lẫn nhau bằng cách hiểu và tôn trọng nền văn hóa của nhau. Chúng tôi hy vọng tạp chí thông tin này sẽ là một công cụ trợ giúp hiểu các nền văn hóa khác nhau, đem đến những thông tin hữu ích cho cuộc sống hàng ngày. Để góp phần làm nên mục tiêu này, tôi sẽ cố gắng hết sức mỗi ngày. Cảm ơn các bạn!



### 다문화공생계 소개의 글

처음뵙겠습니다. 세키네 메구미라고 합니다. 2022년 4월부터 채용된 직원으로서 다문화 공생계에 배속되었습니다. 전직으로는 도쿄 구청에서 근무하며 지역활성화와 홍보업무에 종사했습니다. 또한, 네팔의 행정기관에서 근무한 경험도 있습니다.

네팔에서는 촌락에서 생활하는 여성들의 수입 향상과 생활 개선을 위해 노력했습니다. 처음에는 말이나 문화를 몰라서 불안한 마음이 가득했습니다. 네팔사람들에게 폐를 끼친 적도 있다고 생각합니다. 그러나 네팔사람들은 싫은 내색을 하지 않고 천천히 간단한 네팔어로 대화를 해주었습니다. 같이 차를 마시거나 식사를 하면서 서로의 문화에 대해 이야기하므로 서로 깊이 이해하게 되었습니다.

네팔 사람들은 저를 ‘**दिदी** (언니)’ 또는 ‘**बहिनी** (여동생)’이라고 부르며 진짜 가족처럼 아껴주었습니다. 네팔사람들 덕분에 많은 것을 배우며 일상생활을 만끽했습니다. 또한 네팠사람들과 협력하면서 현지의 과제 해결에 하나하나 대처하면서 직무를 수행할 수 있었습니다. 귀국 후에는 네팔에서의 경험을 살려서 국제협력단체에서 근무하였고, 도쿄2020올림픽·페럴림픽 경기대회 운영에 종사했습니다.

저는 지금까지의 경험을 통해서 언어나 문화가 다른 환경에서 생활하는 것의 어려움을 통감하고 있습니다. 반면, 서로의 문화에 대해서 이해하고 서로 존중하는 것으로 서로 배울점도 많을 것이라고 느끼고 있습니다. 이 정보지가 생활에 도움이 되는 정보를 얻는 동시에 다양한 문화를 서로 이해하기 위한 도구가 되었으면 합니다. 그것을 위해 조금이라도 도움이 될 수 있도록 매일매일 최선을 다하겠습니다. 잘 부탁드립니다.



だいじゅうななごう　れいわよ　にせんにじゅうに　ねんじゅうがつ　はっこう　よてい  
第17号は令和4(2022)年10月に発行する予定です。

・編集・発行	川口市 市民生活部 協働推進課 多文化共生係
・編集長	桑玲君
・副編集長	田中雅子
・編集委員	岸田洋二 塩瀬潔泉 嶋澤紗羅
・翻訳者	(英) 安井ルイ (中) 陳晨 桑玲君 姚新華 (越) フアン ヴィエット ハー レータン フェン (韓) 李淑炯 李興秀
・表紙デザイン	嶋澤紗羅